



手間なし積算

本書は、間取り情報から数量を算出し、積算集計した情報から見積書への連携する操作を解説したテキストです。
また、リフォーム積算やテンプレート作成についても解説しています。

1. 手間なし積算	1
1-1 手間なし積算の概要	1
1-2 マスタ・図面データの確認	2
1-3 自動集計	4
1-4 明細の確認	5
1-5 初期設定の確認	9
1-6 明細の編集とテンプレート保存	11
1-7 工事区分の追加	17
1-8 明細の追加	18
1-9 金額の確認	23
1-10 データの保存	25
1-11 見積書を作成する	27
2. リフォーム積算	33
2-1 現況図と計画図の作成	33
2-2 計画物件の作成	34
2-3 計画図の編集	36
2-4 計画図にリフォーム指示を入力	37
2-5 参照現況図に解体指示を入力	40
2-6 リフォーム積算	42

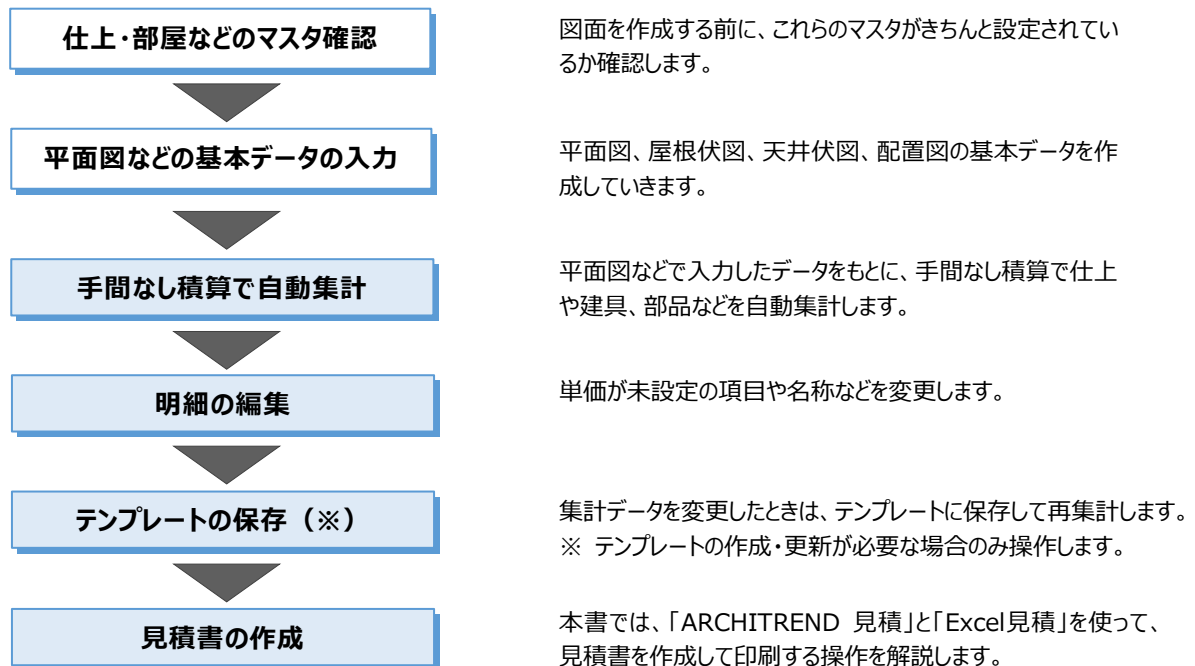
1 手間なし積算

手間なし積算は、平面図、屋根伏図、天井伏図、配置図、基礎伏図のデータを入力して積算できるプログラムです。手間なし積算で仕上、建具、部品などを自動集計し、見積書を作成してみましょう。

1-1 手間なし積算の概要

手間なし積算の基本的な流れ

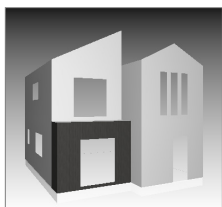
次のフロー図は、手間なし積算の基本的な流れと、本マニュアルでの各項目の解説内容を示したものです。



集計対象のデータ

手間なし積算では、平面図、屋根伏図、天井伏図、配置図、基礎伏図のデータから仕上などの数量を自動集計します。単価は、手間なし積算で設定します。

例) 外壁仕上の場合



⇒ 自動集計されるデータについては、ヘルプ参照

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	外部 壁仕上	外装...	外壁 サイディング張り	塗装品	204.4000	m ² [016]	4,500	6,000
2	外部 壁下地 1	下地...			204.4000	m ² [016]		0
3	外部 腰壁見切	外装...	腰壁見切		0.0000	m[015]		1,560
4	外部 腰壁仕上	タイ...	外壁 タイル貼り		0.0000	m ² [016]		0
5	外部 腰壁下地 1	下地...	外壁 ラス下地		0.0000	m ² [016]		0
6	外部 水切	板金...	水切		0.0000	m[015]		0
7	外部 巾木仕上	左官...	基礎 珪藻土外刷毛引き		14.0500	m ² [016]		3,340

平面図から数量が集計される

単価は手間なし積算で設定

基礎伏図のデータがある場合

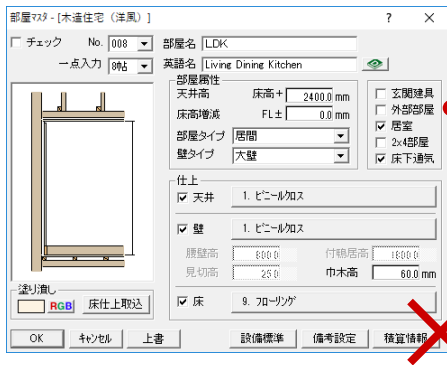
木造基礎伏図または2×4基礎伏図に基礎（べた基礎や布基礎など）が入力されている場合は、布基礎の長さなどの値（数量コード）を計算式に組み込むことで、求めたい数量を算出することができます。

分類	数量コード
【0】天井伏図	布基礎長 (70.8200m)
【0】木造伏図	210×210基礎長 (0.0000m)
【0】基礎	布基礎立上り体積 (4.4942m ³)
【0】床小塵	布基礎フーチング体積 (2.0885m ³)
【L】パネル	布基礎スライプ1長 (0.0000m)
【0】2x4伏図	布基礎スライプ2長 (0.0000m)
【0】基礎	布基礎スライプ3長 (32.7800m)
【E】土台	布基礎スライプ4長 (38.2200m)
【E】床	布基礎スライプ5長 (0.0000m)
	布基礎スライプ6長 (0.0000m)
	布基礎スライプ7長 (0.0000m)
	布基礎スライプ8長 (0.0000m)

1-2 マスタ・図面データの確認

マスタを確認する

平面図などの図面は、内壁仕上マスタや部屋マスタを使ってデータを作成していきます。図面を作成する前に、これらのマスタがきちんと設定されているか確認しておきましょう。手間なし積算に関するマスタは次の通りです。

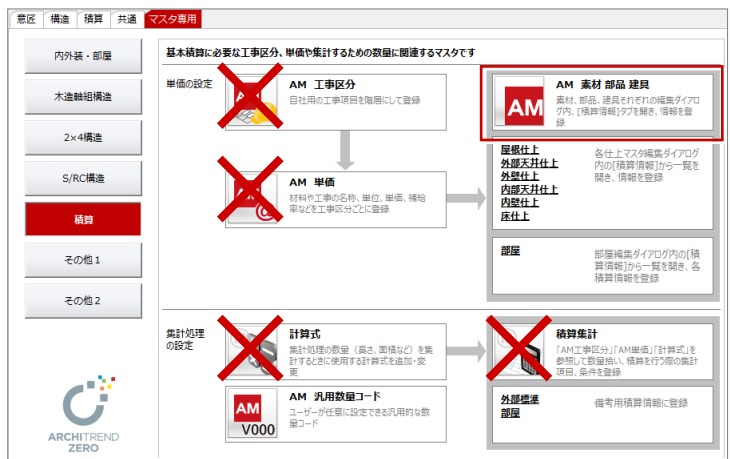


単価は手間なし積算で設定するため、仕上マスタや部屋マスタの積算情報は設定する必要がありません。

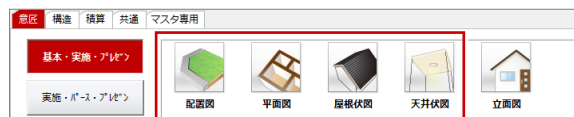


手間なし積算では、積算用マスタを最初に構築する必要がありません。

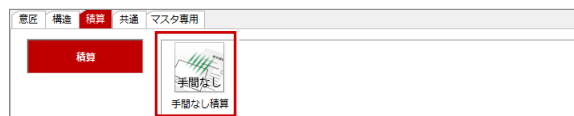
※ AM単位マスタのみテンプレートの新規作成時に連動します。



設定したマスタを使って、平面図などを作成します。



工事区分や単価は手間なし積算で設定します。



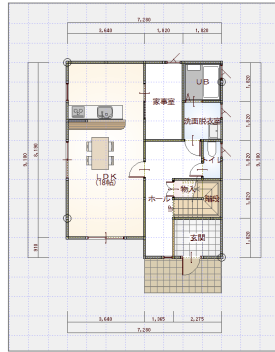
平面図・屋根伏図・天井伏図を確認する

平面図、屋根伏図、天井伏図を開いて、各データがきちんと作成されているかを確認しましょう。

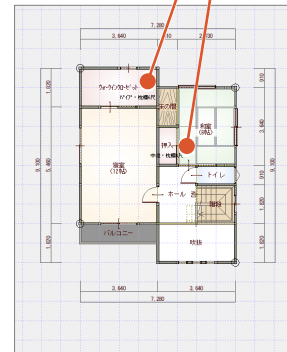
※ サンプルデータ「1_手間なし積算（開始）.fcbz」を使用します。

各図面を開いて、データを確認しましょう。

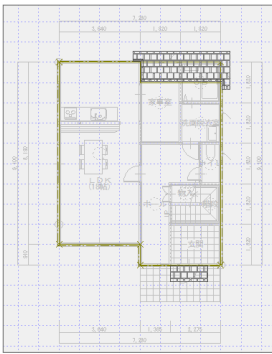
本物件には、ハンガーパイプと押入段の積算パーツ（⇒P.8）を入力してあります。



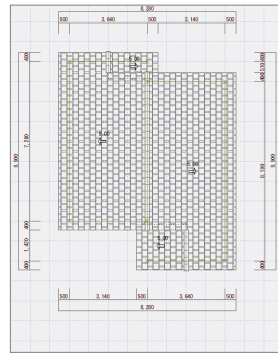
【1階 平面図】



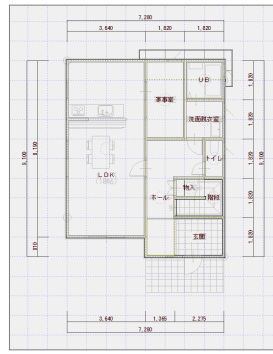
【2階 平面図】



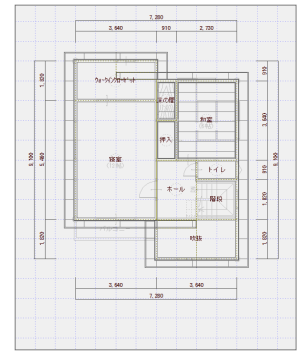
【1階 屋根伏図】



【2階 屋根伏図】



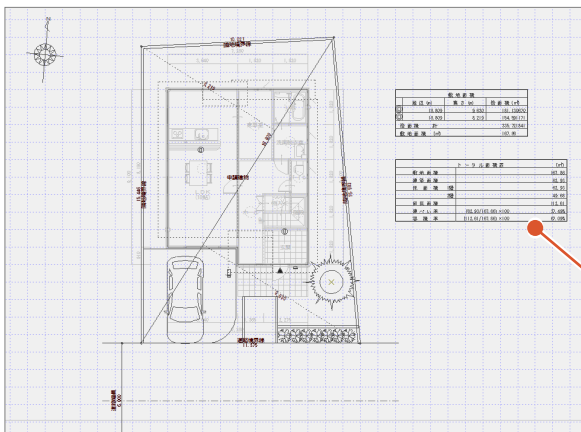
【1階 天井伏図】



【2階 天井伏図】

配置図を確認する

配置図を開いて、データを確認しましょう。



【配置図（1面）】

集計に使用する配置図の面は、手間なし積算の専用初期設定または集計時の詳細設定で指定できます。

建築面積求積図、床面積求積図を入力して、トータル面積表を配置しておきましょう。

トータル面積表を入力しておくと、トータル面積表の敷地面積や建築面積、施工床面積などの数量コードを使って、手間なし積算で数量を算出できます。

例えば、敷地面積の数量は、敷地データからは算出できません。

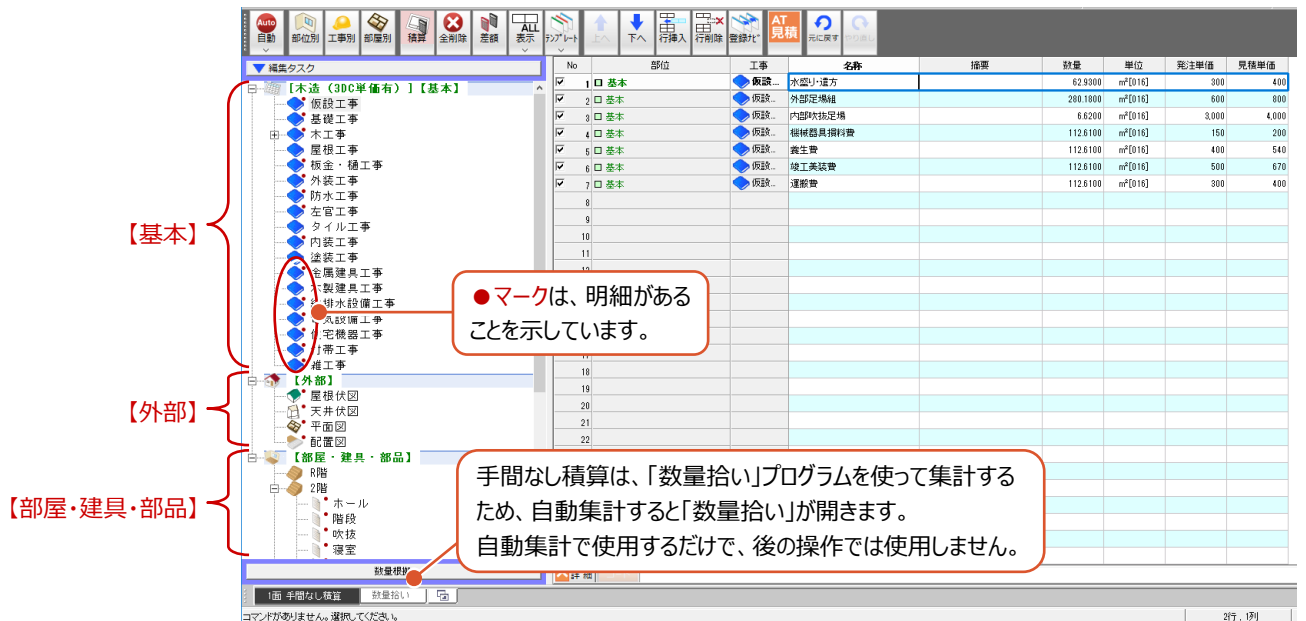
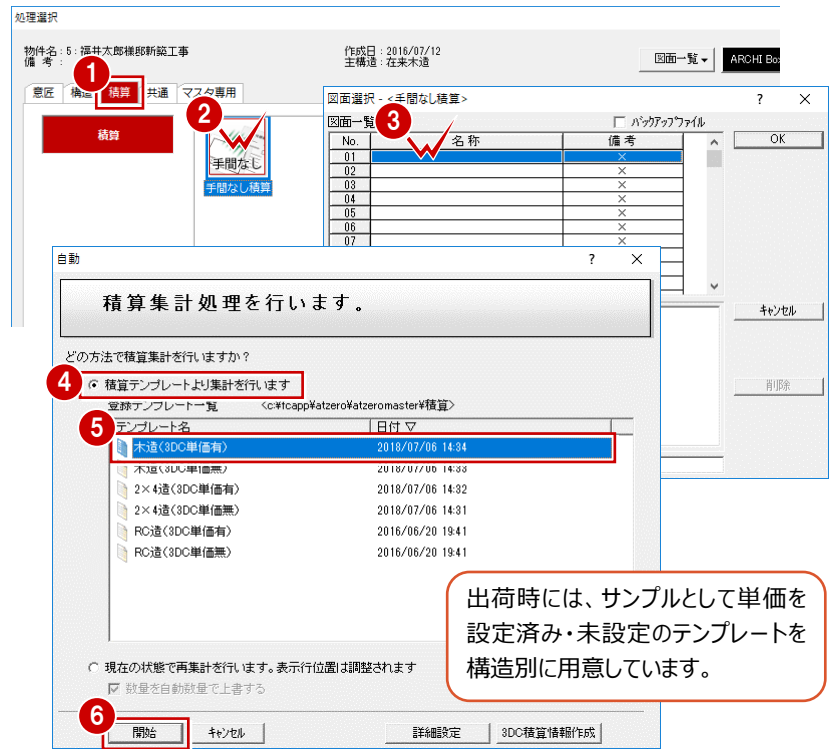
トータル面積表が必要になります。

出荷時の標準テンプレートでは、「仮設工事」の「水盛り・遣方」や「養生費」などの明細において、トータル面積表の数量コードを使用しています。

1-3 自動集計

手間なし積算を起動し、平面図、屋根伏図、天井伏図、配置図のデータを元に、仕上、建具、部品などを自動集計しましょう。

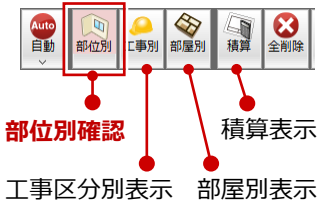
- ① 「処理選択」ダイアログの「積算」タブをクリックします。
- ② 「手間なし積算」をダブルクリックします。
- ③ 「図面選択」ダイアログで「No.01」をダブルクリックします。
- ④ 「自動」ダイアログで「積算テンプレートより集計を行います」にチェックが入っていることを確認します。
- ⑤ 使用する積算テンプレートを選びます。ここでは、「木造（3DC単価有）」を選びます。
- ⑥ 「開始」をクリックします。集計が終了すると、ツリーパネルの各部位ごとに積算項目が表示されます。



ツリー	自動集計の有無	説明
【基本】	△ 図面から 自動集計されない	工事区分を作成する場所です。部屋線外部長、軒高など、その数量の根拠となるものから計算式を組むことで、図面にないデータも集計できます。これをテンプレートに保存しておくことで、次回から集計可能となります。
【外部】	○ 図面から 自動集計される	「平面図」「屋根伏図」などの図面に分類し、図面で入力されている外壁仕上、バルコニー、ポーチ、屋根など外部データを自動集計する場所です。
【部屋・建具・部品】	○ 図面から 自動集計される	階別・部屋別に分類し、内壁仕上、腰壁、巾木、床仕上、天井仕上、建具、部品など部屋内部データを自動集計する場所です。

1-4 明細の確認

自動集計された明細項目や数量根拠を確認してみましょう。ここでは「部位別確認」の表示に切り替えます。「部位別確認」では、内装、外装、金属建具などの種別ごとに一覧表示できるので確認がしやすくなります。



部位別確認	【外部】【部屋・建具・部品】の明細項目を内装、外装、金属建具などの部位別に表示します。諸経費の設定や明細のExcel出力も可能です。
工事区分別表示	【基本】【外部】【部屋・建具・部品】を集約して工事区分別に表示します。工事ごとの金額や利益率を確認できます。
部屋別表示	【基本】【外部】を集約して工事区分別に表示します。工事ごとの金額や利益率を確認できます。
積算表示	【基本】【外部】【部屋・建具・部品】の各部位ごとに積算項目を表示します。工事区分の追加、移動、削除、名称変更や、明細項目の編集が可能です。

内装を確認する

「内装」では、各部屋の仕上データが表示されます。「床」「壁」「天井」などを切り替えて、部位ごとにまとめて確認できます。

根拠表示ビュー

メイン部位ビューで選択しているデータの根拠を表示します。

メイン部位ビュー

集計した明細項目を部位ごとに表示します。

サブ部位ビュー

下地や手間賃など、メイン部位に付随するデータを表示します。

数量根拠を確認する

LDKの内壁を例に、数量の根拠を確認してみましょう。

- 1階 LDKの壁仕上のセルをクリックします。
- 根拠表示ビューの平面モニタで、選択した項目の集計元となるデータが赤く表示されます。
- 下のツリーには、数量根拠となる面積（建具開口を除く）が表示されます。
- 「立体」をクリックすると、対象データを立体で確認できます。

「部位」や「工事」は項目をクリックすると表示幅が切り替わります。

項目部分を右クリックすると、表示する明細項目を変更できます。表示したい項目にチェックを付けます。

右クリック

内壁仕上の数量

部位	拾い	工事	名称	摘要	数量	単
床仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	建...	床 70-リノグ 貼		8.5600	坪[0]
巾木仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	建...	化粧巾木		6.5000	本[0]
壁仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	内...	内壁ビニール貼入		52.5900	㎡[0]
天井仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	建...	スチールフローリング		28.1700	㎡[0]
廻縁	<input checked="" type="checkbox"/>	建...	壁 底目地		14.0000	本[0]
床仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	建...	床 クッションパ-		1.3800	㎡[0]
巾木仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	建...	化粧巾木		3.9000	本[0]
壁仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	内...	内壁ビニール貼		2.0000	㎡[0]
天井仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	内...	天井ビニール貼		2.0000	㎡[0]
廻縁	<input checked="" type="checkbox"/>	建...	壁 底目地		1.8000	本[0]
床仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	建...	床 クッションパ-		2.9400	㎡[0]
巾木仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	建...	化粧巾木		2.0000	本[0]
壁仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	内...	内壁ビニール貼		12.7600	㎡[0]
天井仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	内...	天井ビニール貼		2.8600	㎡[0]
廻縁	<input checked="" type="checkbox"/>	建...	壁 底目地		4.0000	本[0]
床仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	建...			2.9400	㎡[0]
壁仕上	<input checked="" type="checkbox"/>	内...	壁:		13.5000	㎡[0]

3

4

立体

《内壁仕上データ 52.5923㎡》

- 1階 平面図 4.9010 ㎡(=8.2134-3.3124)
- 1階 平面図 15.6651 ㎡(=18.8604-3.1953)
- 1階 平面図 8.2134 ㎡(=8.2134-0.0000)
- 1階 平面図 5.3508 ㎡(=6.0840-0.7332)
- 1階 平面図 2.1294 ㎡(=2.1294-0.0000)

立体確認

補足

壁仕上から差し引かれる建具開口面積について

0.5㎡以下の建具開口面積は対象外となり、壁仕上面積からは差し引かれません。

(例) 開口面積 $0.74 \times 0.64 = 0.4736 \text{㎡} < 0.5 \text{㎡}$

開口高

開口幅

《内壁仕上データ 17.0291㎡》

- 1階 平面図 2.5267 ㎡(=3.9195-1.3928)
- 1階 平面図 6.0489 ㎡(=6.0489-0.0000)
- 1階 平面図 2.4091 ㎡(=3.9195-1.5104)
- 1階 平面図 6.0444 ㎡(=6.0444-0.0000)

立体確認

数量根拠ビューで壁仕上面積から開口面積が差し引かれていることを確認できますが、開口面積が0.5㎡以下は「0」となります。

外装を確認する

「外装」では、外部の仕上データが表示されます。「内訳」をクリックすると、同一部材に集約されている部位を確認できます。

「集約」は、部材名が同じ明細を1行にまとめて表示します。

部材	部位	拾い	工事	名称	摘要	数量	単位
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	88,280	m[016]
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	180,710	m[016]
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	3,130	m[016]
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	11,730	m[016]
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	19,930	m[016]
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	45,120	m[016]
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	0,000	m[016]
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	33,450	m[016]
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	14,050	m[016]
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	8,100	m[016]
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	10,500	m[016]
外装	外装仕上	外...	外...	外装仕上	建築品	2,850	m[016]

金属建具を確認する

「金属建具」では、玄関ドアやサッシなど金属製建具のデータが表示されます。「1」「2」「3」ボタンで、どの仕様を採用するか選択します。

金属建具には3つの単価を設定することができます。どの仕様（1～3）を採用するかは、テンプレート保存でファイルに書き込まれます。

部室	部位	拾い	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価
1階 玄関	金...	金...	金...	玄関ドア W944 H2330		1.0000	ヶ所[005]	284,800
1階 ホール	金...	金...	金...	上げ下げ 03613		1.0000	ヶ所[005]	24,400
1階 LDK	金...	金...	金...	引違い2枚 半外付 16511		1.0000	ヶ所[005]	29,500
1階 トイレ	金...	金...	金...	引違い2枚 半外付 16520		1.0000	ヶ所[005]	50,000
1階 トイレ	金...	金...	金...	上げ下げ 07409		1.0000	ヶ所[005]	24,800

木製建具を確認する

「木製建具」では、室内ドアなど木製建具のデータが表示されます。

部室	部位	拾い	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価
1階 物入	木...	木...	木...	面取 収納扉 W735_H1783		1.0000	ヶ所[005]	48,200
1階 LDK	木...	木...	木...	単体ドア引付 W780_H20...		1.0000	ヶ所[005]	59,200
1階 トイレ	木...	木...	木...	単体ドア引付 W780_H20...		1.0000	ヶ所[005]	56,000
1階 洗面脱衣室	木...	木...	木...	単体ドア引付 W780_H20...		1.0000	ヶ所[005]	56,000
1階 客室	木...	木...	木...	片引付 W1644_H2...		1.0000	ヶ所[005]	72,000
2階 客室	木...	木...	木...	単体ドア引付 W780_H20...		1.0000	ヶ所[005]	59,200
2階 カウンタートップ	木...	木...	木...	片引付 木目調 W1644_H...		1.0000	ヶ所[005]	70,000

部品を確認する

「部品」では、システムキッチンや便器などの部品データが表示されます。「部屋」～「屋根」の分類を切り替えて確認します。

右上の●マークは、明細があることを示しています。

部室	部位	拾い	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価
1階 LDK	部...	部...	部...	システムキッチン 2550型		1.0000	ヶ所[005]	560,100
1階 トイレ	部...	部...	部...	トイレ		1.0000	ヶ所[005]	112,000
1階 洗面脱衣室	部...	部...	部...	洗面化粧台 750		1.0000	ヶ所[005]	205,000
1階 UB	部...	部...	部...	洗面化粧台 1616A(L)		1.0000	ヶ所[005]	332,670

設備を確認する

「設備」では、部屋の設備情報に設定されている電灯やコンセントなど設備機器の個数が表示されます。この画面で個数を変更できます。 ※ 部屋の設備情報に逆連動はしません。

平面図の部屋属性にある「設備情報」で設定した設備の個数が連動します。設備の名称や個数の初期値は、部屋マスターで設定します。

部屋	電灯	スイッチ	コンセント	アース付コンセント	IPコンセント	専用コンセント	LAN	TEL
1階 玄関	1	2						
1階 ホール	2	1	1					
1階 階段		1	1					
1階 物入れ								
1階 LDK	3	3	4	1	1	1	1	1
1階 トイレ	1	2	1					
1階 洗面脱衣室	1	2	1	1				
1階 UB	1	2	2					
1階 茶室	1	1	1					
2階 ホール	2	1	1					
2階 階段	1	1	1					
2階 吹抜	1							
2階 寝室	1	1	2		1		1	
2階 ウォークインクローゼット	1	1						
2階 トイレ	1	2			1			

積算パーツを確認する

「積算パーツ」では、平面図や配置図などで入力した積算パーツのデータが表示されます。「部屋」～「配置」の分類を切り替えて確認します。

右上の●マークは、明細があることを示しています。

部屋	部位	扱い	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	計
2階 ウォークインクローゼット	積算A	✓	建...	パイプ・枕棚φ16尺		1.0000	ヶ所[005]	12,000	
2階 押入	積算A	✓	建...	中段・枕棚φ16尺		1.0000	ヶ所[005]	16,000	

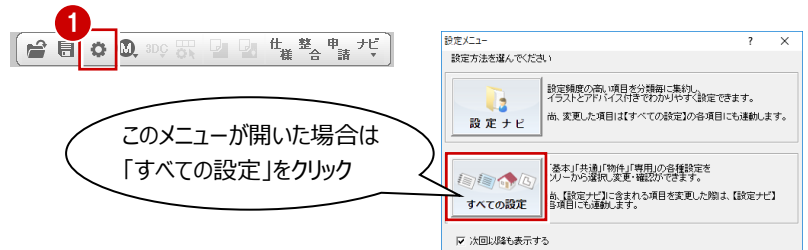
積算パーツとは
 拾いたい項目のシンボルが用意されていない場合や、同じシンボルでもサイズによって金額が変わる場合などに、CAD図形を持った積算パーツを図面に入力することで、手間なし積算にて集計できます。
 積算の単位として個数、長さ、面積、体積を選択でき、図形や文字列も登録できる汎用性の高い積算用の部品です。
 ※ 本書の物件には、ハンガーパイプと押入段の積算パーツを入力してあります。

1-5 初期設定の確認

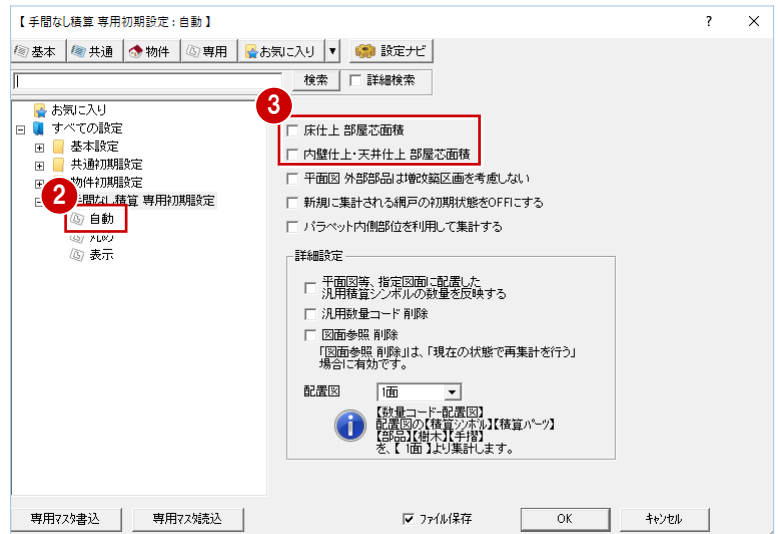
「専用初期設定」ダイアログで、自動集計や画面表示の条件などの設定を確認しておきましょう。
設定を変更した場合は、再度自動集計を実行します。

自動集計の条件を確認する

- ① 「設定」をクリックします。
- ② ツリーから「自動」を選びます。
- ③ 「床仕上 部屋芯面積」「内壁仕上・天井仕上 部屋芯面積」で、仕上面積の集計条件を確認します。



OFF	実際の面積（有効面積）で算出します。 床仕上の場合は躯体面、天井仕上の場合は内壁仕上面で拾います。
ON	部屋芯で算出します。



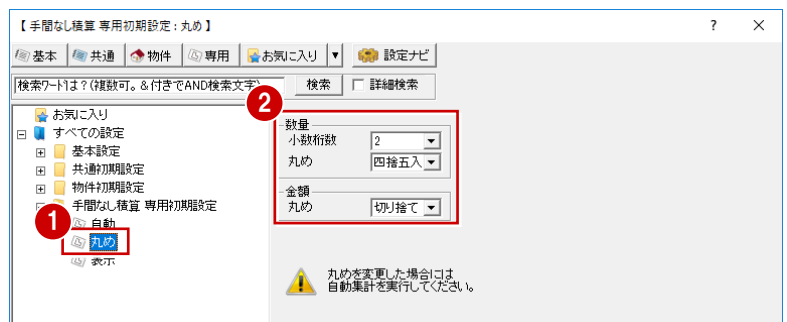
※ その他の条件の設定

平面図 外部部品は増改築区画を考慮しない	OFF	増改築区画内に含まれない部屋の外壁に入力されている玄関灯などの部品は集計されません。
	ON	増改築区画内に含まれない部屋に入力されている外部部品を集計します。

パラペット内側部位を利用して集計する	OFF	パラペット内側と外側を分けずに集計します。
	ON	パラペット内側と外側を分けて集計します。 テンプレートのパラペット内側の情報を利用して集計します。

数量・金額の丸めを確認する

- ① ツリーから「丸め」を選びます。
- ② 自動数量・数量の小数桁数（0～4）と丸め方法、および明細項目の金額（数量×単価）の丸め方法を確認します。

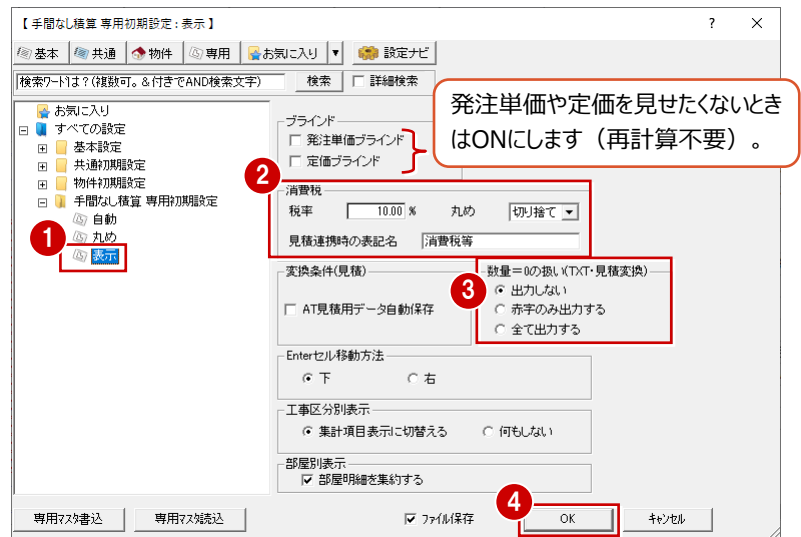


画面表示の条件を確認する

- 1 ツリーから「表示」を選びます。
- 2 消費税の税率と丸め方法を確認します。
- 3 見積出力時に、数量が0の項目をどう扱うか確認します。

出力しない	数量が0の明細行はすべて出力しません。
赤字のみ出力する	文字色が赤色の明細行は出力し、灰色の明細行は出力しません。
全て出力する	文字色が赤色や灰色の明細行もすべて出力します。

- 4 「OK」をクリックします。



1-6 明細の編集とテンプレート保存

テンプレートに登録されていない項目は、明細や単価が未入力となります。これらをいくつか修正し、テンプレートに保存してみましょう。さらに、その更新したテンプレートを使って再集計し、テンプレートの役割を確認してみましょう。

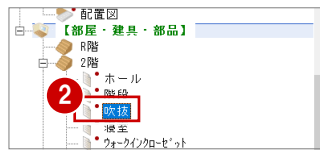
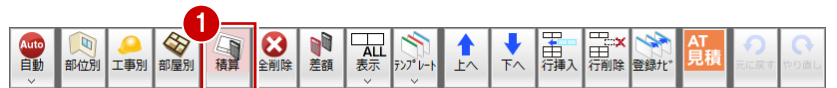
ここでは、2階吹抜と2階和室の金属建具に、単価が未入力で赤字になっているものがあるため、単価を設定しましょう。

※「部別確認」ではテンプレート保存のコマンドが使用できないため、「積算表示」に切り替えて操作します。



2階吹抜の明細を変更する

- 「積算」をクリックします。
- ツリーから【部屋・建具・部品】の2階にある「吹抜」を選びます。
- Fixのセルに、次のように入力します。
「名称」：Fix 03620
「摘要」：アルミサッシ
「発注単価」：19200
「見積単価」：25600
- 「単位」セルをダブルクリックします。
- 「単位設定」ダイアログから、番号5の「ヶ所」をダブルクリックして選択します。



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	巾木仕上(m)	建材	化粧巾木	3.9m	0.0000	本[49]	1,500	2,000
2	巾木下地(m) 1	下地			0.0000	m[15]	0	0
3	壁仕上	内装	内壁ビニール		17.7900	m ² [16]	900	1,200
4	壁下地 1	下地	内壁下地		8.5000	枚[26]		800
5	天井仕上	内装	天井ビニール加工		1.1600	m ² [16]		800
6	天井下地 1	下地	天井下地 PB	910×1820 9.5mm	4.0000	枚[25]		400
7	窓縁	建材	遮目地	1.8m		枚[25]	250	340
8	金属建具 1	金属	Fix Fix/テラス	03620	1.0000		0	0
9	金属建具 1	金属	Fix Fix/テラス	03620	1.0000		0	0
10	金属建具 1	金属	Fix Fix/テラス	03620	1.0000		19,200	25,600
11	設備	電気	シーリング		1.0000	ヶ所[005]	2,400	3,000

明細の表示色・マークについて

セルで表示される集計項目の表示色やマークは、次の内容を表します。

積算しない項目は「No」のチェックをはずします。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価
1	基本	仮設	水廻り遣方		62.9300	m ² [014]	500
2	基本	仮設	外部足場構料	枠組足場	268.7000	m ² [014]	900
3	基本	仮設	屋根足場構料	6寸以上	0.0000	m ² [014]	800
8	基本	仮設	仮設電気	引込設置-撤去-申請	1.0000	式[02]	30,000
9	基本	仮設	仮設水道	水道接続	1.0000	式[02]	28,000
1	屋根仕上	屋根	ガルバリウム鋼板単葺		0.0000	m ² [014]	4,500
2	屋根仕上手間	屋根	ガルバリウム鋼板施工費		0.0000	m ² [014]	900
3	屋根下地 1	屋根	ルーフソング下地野地板	ゴムアス系 23Kg	0.0000	m ² [014]	1,800
1	配置図 部品	住宅	ユニットポスト1		1.0000	ヶ所[030]	0
1	配置図 部品 手間	住宅			1.0000	ヶ所[030]	0
1	配置図 部品 1	住宅			1.0000	ヶ所[030]	0

● 図面から集計された明細がテンプレートに存在しない項目には、「部位」に★マークが表示されます。

黒色	テンプレートに項目と単価が設定されていて、図面から数量も集計されているとき、黒色になります。
赤色	「数量」「見積単価」のどちらかの項目が0のとき、赤色になります。
灰色	テンプレートに項目が存在するが、図面には配置されていないため集計されなかった項目は、灰色になります。
緑色	「No」のチェックがはずれているとき、緑色となり、取り消し線が表示されます。合計金額にも入りません（積算対象外）。

※【基本】では、数量が0や単価が未入力（0円）の項目の文字は赤色になります。

【外部】【部屋・建具・部品】では、数量が0のものは、図面にデータがないため文字が灰色になり、単価が未入力（0円）のときのみ赤色になります。

2階和室の明細を変更する

2階和室には、同じ内障子付き引違い窓が2組あり、単価が未入力になっています。ここでは、掛率を使って見積単価を設定しましょう。また、網戸を積算対象外に変更してみましょう。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
8	金属建具 1	金属...	引違い2枚 単体引違 外付/2枚/	17215	1.0000	ヶ所[005]	0	0
9	網戸	金属...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
10	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違	0809	1.0000	ヶ所[005]	45,000	60,000
11	金属建具 1	金属...	引違い2枚 単体引違 外付/2枚/	17215	1.0000		0	0
12	網戸	金属...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
13	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違	0809	1.0000	ヶ所[005]	45,000	60,000
14	木製建具 1	木製...	片引き戸 心すま/木製	1K1718	1.0000	ヶ所[005]	40,200	62,800

名称などを変更する

① ツリーから2階の「和室」を選びます。



② 引違いの明細を、次のように編集します。

「名称」：引違い2枚 外付 17215
 「摘要」：アルミサッシ
 「単位」：ヶ所「005」
 「発注単価」：42800

番号	名称	備考	番号	名称	備考
1	式		21	枚	整数
2	回		22	枚	実数
3			23		
4			24		
5	ヶ所		25	枚	8×6尺
6			26	枚	8×8尺
7	台		27	枚	8×9尺

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
8	金属建具 1	金属...	引違い2枚 単体引違 外付/2枚/	17215	1.0000	ヶ所[005]	0	0
9	網戸	金属...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
10	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違	0809	1.0000	ヶ所[005]	45,000	60,000
11	金属建具 1	金属...	引違い2枚 単体引違 外付/2枚/	17215	1.0000		0	0
12	網戸	金属...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
13	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違	0809	1.0000	ヶ所[005]	45,000	60,000

③ 内障子の明細を、次のように編集します。

「摘要」：なし (消去)
 「発注単価」：47000

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
8	金属建具 1	金属...	引違い2枚 外付 17215	アルミサッシ	1.0000	ヶ所[005]	42,800	0
9	網戸	金属...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
10	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違		1.0000	ヶ所[005]	45,000	60,000
11	金属建具 1	金属...	引違い2枚 単体引違 外付/2枚/	17215	1.0000		0	0
12	網戸	金属...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
13	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違		1.0000	ヶ所[005]	47,000	60,000

掛率を使って単価を設定する

① 引違いから内障子までの「見積単価」セルをドラッグして選択します。

② 右クリックして「掛率」を選びます。

③ 「掛率」ダイアログで、次のように計算式を変更します。

$$\text{見積単価} = \text{発注単価} \times 1.25$$

④ 「OK」をクリックします。

※ 「集計項目表示」が「全表示」(⇒ P.24) 以外のときは、「掛率」を選択できません。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
8	金属建具 1	金属...	引違い2枚 外付 17215	アルミサッシ	1.0000	ヶ所[005]	42,800	53,500
9	網戸	金属...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
10	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違		1.0000	ヶ所[005]	47,000	58,750
11	金属建具 1	金属...	引違い2枚 単体引違 外付/2枚/	17215	1.0000		0	0
12	網戸	金属...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
13	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違	0809	1.0000	ヶ所[005]	45,000	60,000

積算の有無を変更する

- 1 網戸の明細を選択します。
- 2 「No」のチェックをはずします。
網戸が積算対象外になります。

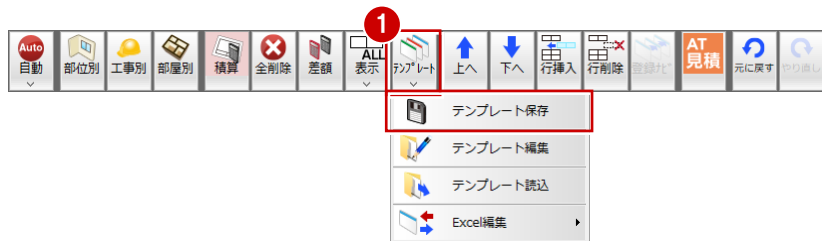
No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
8	金網建具 1	金網...	引違い2枚 外付 17215	アルミサッシ	1.0000	ヶ所[005]	42,800	53,500
9	網戸	金網...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
10	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違		1.0000	ヶ所[005]	47,000	58,750
11	金網建具 1	金網...	引違い2枚 単体引違 外付/2枚/ 17215		1.0000		0	0
12	網戸	金網...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
13	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違	0809	1.0000	ヶ所[005]	45,000	60,000

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
8	金網建具 1	金網...	引違い2枚 外付 17215	アルミサッシ	1.0000	ヶ所[005]	42,800	53,500
9	網戸	金網...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
10	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違		1.0000	ヶ所[005]	47,000	58,750
11	金網建具 1	金網...	引違い2枚 単体引違 外付/2枚/		1.0000		0	0
12	網戸	金網...	網戸引違い2枚 単体引違 外付/		1.0000		0	0
13	木製建具 1	木製...	内障子 荒組障子 2枚引違	0809	1.0000	ヶ所[005]	45,000	60,000

テンプレートに保存する

変更した明細を次回からも使用できるようにテンプレートに保存します。

- 1 「テンプレート」メニューから「テンプレート保存」を選びます。
同じ建具において、異なる明細や単価が存在するため、「優先順位設定」ダイアログが開きます。
- 2 テンプレートに保存する方の明細を選びます。
ここでは、内障子の単価を変更した側、網戸が積算対象外になっている側の「優先」にチェックを入れます。残りは、単価が設定されている側にします。
- 3 「OK」をクリックします。



優先順位設定

※積算マスタ以外の優先順位を指定します。
※優先順位設定はテンプレートに保存されます。

部位	工事	優先	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
木製建具 1	木製...	<input checked="" type="radio"/>	内障子 荒組障子 2枚引違	0809		ヶ所[005]	45,000	60,000
	木製...	<input type="radio"/>	内障子 荒組障子 2枚引違			ヶ所[005]	47,000	58,750
金網建具 1	金網...	<input checked="" type="radio"/>	Fix Fix/テラス	03620	アルミサッシ	ヶ所[005]	19,200	25,600
	金網...	<input type="radio"/>	Fix Fix/テラス	03620			0	0
金網建具 1	金網...	<input checked="" type="radio"/>	引違い2枚 外付 17215	アルミサッシ		ヶ所[005]	42,800	53,500
	金網...	<input type="radio"/>	引違い2枚 単体引違 外付/2枚/ 17215				0	0
網戸	金網...	<input checked="" type="radio"/>	網戸引違い2枚 単体引違 外付/				0	0
	金網...	<input type="radio"/>	網戸引違い2枚 単体引違 外付/				0	0

吹抜のFixや和室の内障子付き引違い窓は、同じ建具が複数ある中の1つだけ明細を変更したため、同じ建具で2つの積算情報が存在しています。1つの明細に複数の積算情報をテンプレートに保存できないため、どちらの積算情報をテンプレートに保存するかを選択します。

- 4 「テンプレート保存」ダイアログの「テンプレート名称」を入力します。
ここでは「自社テンプレート」とします。
- 5 「保存」をクリックします。

テンプレート保存

登録テンプレート一覧 <c:\fcapp\kazero\kazeromaster\積算>

テンプレート名	日付
木造(3DC単価有)	2018/07/06 14:34
木造(3DC単価無)	2018/07/06 14:33
2×4造(3DC単価有)	2018/07/06 14:32
2×4造(3DC単価無)	2018/07/06 14:31
RC造(3DC単価有)	2016/06/20 19:41
RC造(3DC単価無)	2016/06/20 19:41

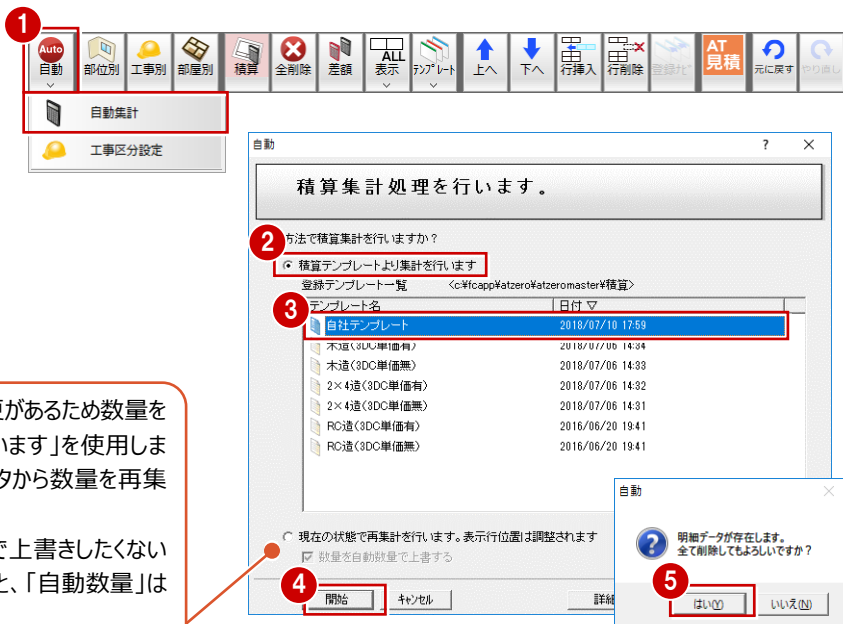
テンプレート名称
自社テンプレート

保存

再集計する

保存した自社テンプレートを使って、再集計します。

- 1 「自動」メニューから「自動集計」を選びます。
- 2 「積算テンプレートより集計を行います」がONになっていることを確認します。
- 3 保存したテンプレートを選びます。
- 4 「開始」をクリックします。
- 5 削除の確認画面で、「はい」をクリックします。



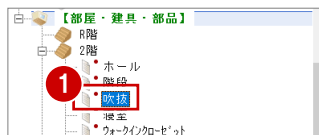
明細項目や金額などを変更した後、図面データに変更があるため数量を集計し直したいときは、「現在の状態で再集計を行います」を使用します。明細の変更をそのまま残した状態で、新しいデータから数量を再集計できます。

このとき、「数量」を手動で変更して「自動数量」で上書きしたくない場合は、「数量を自動数量で上書きする」をOFFにすると、「自動数量」は変更されますが「数量」は元の数値のまま残ります。

⇒ 「自動数量」と「数量」については、P.15参照

集計結果を確認する

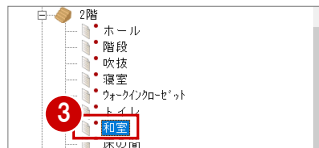
2階吹抜のFixや、2階和室の引違い窓の明細を確認します。



- 1 2 ツリーから2階の「吹抜」を選び、残りの2か所のFixにも、各部位の名称や単価が入っていることを確認します。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
8	全周建具 1	金網	Fix 03620	アルミサッシ	1.0000	ヶ所[005]	19,200	25,600
9	全周建具 1	金網	Fix 03620	アルミサッシ	1.0000	ヶ所[005]	19,200	25,600
10	全周建具 1	金網	Fix 03620	アルミサッシ	1.0000	ヶ所[005]	19,200	25,600
11	設備	電気	ソケット		1.0000	ヶ所[005]	2,400	3,000

- 3 4 ツリーから2階の「和室」を選び、もう一方の建具の明細にも設定が反映されたことを確認します。



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
8	全周建具 1	金網	引違い2枚 外付 17215	アルミサッシ	1.0000	ヶ所[005]	42,800	53,500
9	網戸	金網	網戸引違い2枚 単体引違い 外付		1.0000		0	0
10	木製建具 1	木製	内窓子 荒組障子 2枚引違い		1.0000	ヶ所[005]	47,000	58,750
11	全周建具 1	金網	引違い2枚 外付 17215	アルミサッシ	1.0000	ヶ所[005]	42,800	53,500
12	網戸	金網	網戸引違い2枚 単体引違い 外付		1.0000		0	0
13	木製建具 1	木製	内窓子 荒組障子 2枚引違い		1.0000	ヶ所[005]	47,000	58,750
14	木製建具 1	木製	内引き戸 ふすま/木製	1K1718	1.0000	ヶ所[005]	40,200	62,800

再集計することで、同じ建具すべての明細に、テンプレートの内容の単価、積算の有無を反映できます。

補足

項目を積算対象外にするには

「基本」「備考」「外部備考」	対象外にする項目を選択して「行削除」を選択します。そのあとテンプレート保存すると次回の集計からは項目が表示されません。ただし、集計対象が図面に入力されていれば削除してテンプレート保存しても、次回の集計で表示されます。
「基本」「備考」「外部備考」以外	No.のチェックをOFFにしてテンプレート保存すると、積算対象外としてチェックが外れた状態で集計されます。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	定価
1	基本	仮設...	内部足場	樹立設置	0.0000	m ² [014]	250	340	420
2	基本	仮設...	内部吹付け足場	網管壁		工事区分(K)...	Ctrl+K	4,200	5,250
3	基本	仮設...	仮設トレ	仮設トレ		単位(A)...		40,000	50,000

右クリック

⇒ 自動集計されるデータについては、ヘルプ参照

テンプレートとマスタの関係

単価が設定されていて、かつ数量が計上された状態で項目が集計されてくるには、テンプレートの明細と図面に入力されている仕上・建具・部品データのマスタNo（番号）が大きく関係しています。

- 1 明細項目を選んで、下部の「詳細」をクリックすると、明細詳細パネルが開きます。
- 2 右図のように、マスタ No が一致したとき、その項目の数量が集計されます。

なお、マスタ No とは次のことを指します。

- 【仕上】：各仕上マスタの「No.」
- 【建具・部品】：3D カタログマスタの KeyID

【内壁仕上の場合】

【建具の場合】

マスタNoが異なる場合、数量は集計されず、テンプレートにない項目として新たに赤字で集計されます。

※ 3Dカタログサッシは、KeyIDに加えて建具サイズが一致したとき、テンプレートの項目の数量が集計されます。

「自動数量」と「数量」

数量には2種類のセルがあります。

「自動数量」：図面のデータから自動集計された数量が入ります（編集不可）。

「数量」：自動集計直後は「自動数量」と同じ数量が入りますが、「数量」は変更できます。

3D カタログ建具の定価と名称について

以下のような連動になります。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	定価
8	金網建具 1	金網	Fix Fix/テラス	03620	1.0000		0	0	37,700
9	金網建具 1	金網	Fix Fix/テラス	03620	1.0000		0	0	37,700
10	金網建具 1	金網	Fix Fix/テラス	03620	1.0000		0	0	37,700



連動元	
① Fix	建具属性変更画面の「種別」
② Fix/テラス	建具の詳細画面の「品名」
③ 03620	建具の詳細画面の「品番」
④ 37,700	建具の詳細画面の「価格」

1-7 工事区分の追加

工事区分と階層を作成してみましょう。

工事区分の作成

標準のテンプレートには、工事区分が登録されていますが、自社仕様に編集することができます。ここでは「ガス工事」を作成してみましょう。工事区分の編集は「積算表示」モードでおこないます。

- 1 「積算表示」であることを確認します。
- 2 「編集タスク」をクリックします。ツリーパネルの工事区分を作成・編集するための機能が表示されます。
- 3 ツリーから【基本】を選びます。
- 4 「編集タスク」の「新しい工事を作成する」をクリックします。
- 5 「新しい工事」が作成されるので、「ガス工事」と入力して、Enter キーを押します。
- 6 「工事を上へ移動する」をクリックすると、作成した工事区分が上に移動します。



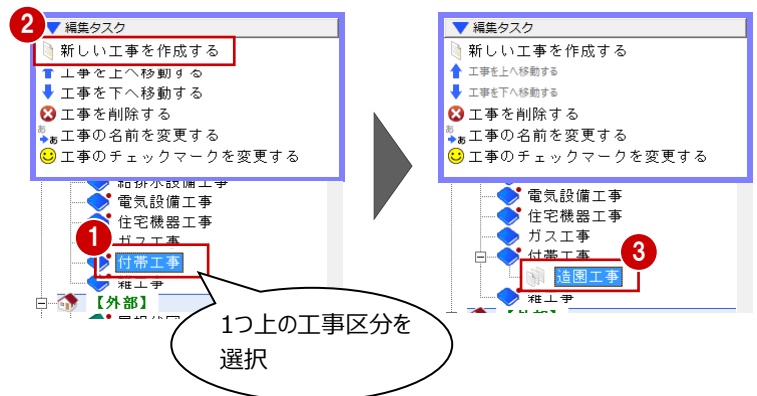
第1層は、【基本】を選択した状態で追加

補足

第2層以下の工事区分を作成するには

工事区分は最大4階層まで登録することができます。下層を作成する場合は、1つ上の階層を選択した状態で作成していきます。ここでは、「付帯工事」の下層に「造園工事」を追加してみましょう。

- 1 ツリーから「付帯工事」を選びます。
- 2 「編集タスク」の「新しい工事を作成する」をクリックします。
- 3 工事名称を入力して、Enterキーを押します。



1つ上の工事区分を選択

1-8 明細の追加

拾われてきた明細に対する編集だけでなく、新規追加をおこなうことができます。

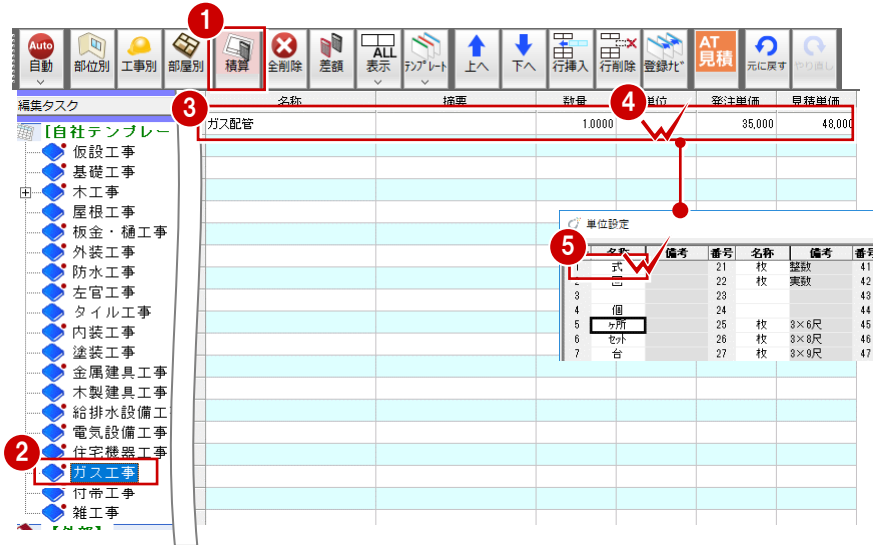
ここでは「ガス配管」、「草刈り費」、「サッシ廻り防水テープ」を例に3つの明細の追加方法をご紹介します。

A 定数値で明細を追加する

ガス配管工事を一式で定数値を使って明細項目を追加してみましょう。

工事区分	名称	単位	発注単価	見積単価	集計方法	定数値
ガス工事	ガス配管	式	35,000	48,000	定数値	1

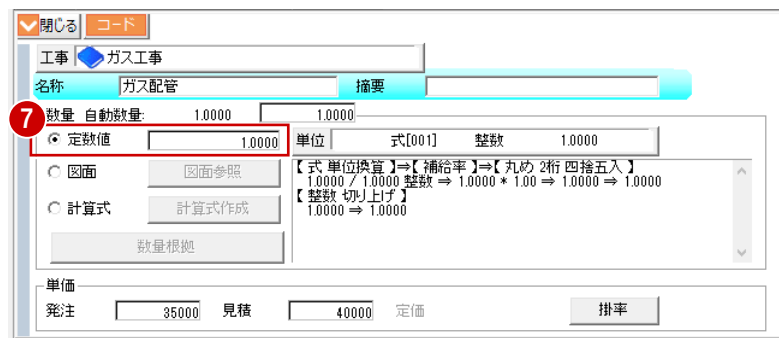
- 1 「積算表示」を選択します。
- 2 「ガス工事」をクリックします。
- 3 「No.1」の行を選択し、名称・数量・発注単価・見積単価を上記表の通り入力します。
- 4 「単位」セルをダブルクリックします。
- 5 「単位設定」ダイアログから「式」をダブルクリックして選択します。



- 6 画面下部の「詳細」をクリックし詳細パネルを表示します。



- 7 数量の「定数値」にチェックをつけ「1」と入力します。



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	基本	ガス	ガス工事		1.0000	式[001]	35,000	48,000

登録ナビを使用して登録する方法

明細セルに直接入力する方法の他に、「登録ナビ」を使用して登録する方法があります。

「登録ナビ」を使用すると詳細パネルを開かずに明細の登録ができ、入力漏れ防止にも有効です。

- ① 「積算表示」を選択します。
- ② 「ガス工事」をクリックします。
- ③ 「No.1」の行を選択し、「登録ナビ」をクリックします。
- ④ 名称や単価などを設定します。
- ⑤⑥ 単位は「単位」をクリックすると「単位選択」ダイアログが表示されるので、一覧から「式」を選択します。
- ⑦ 「次へ」をクリックします。
- ⑧ 「定数値」を選択し「完了」をクリックします。

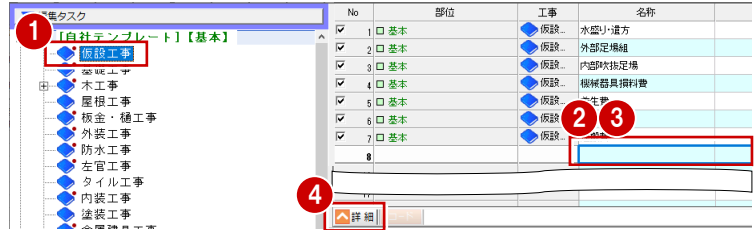
No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	基本	ガス	ガス工事		1.0000	式[001]	35,000	48,000

B 計算式で明細を追加する

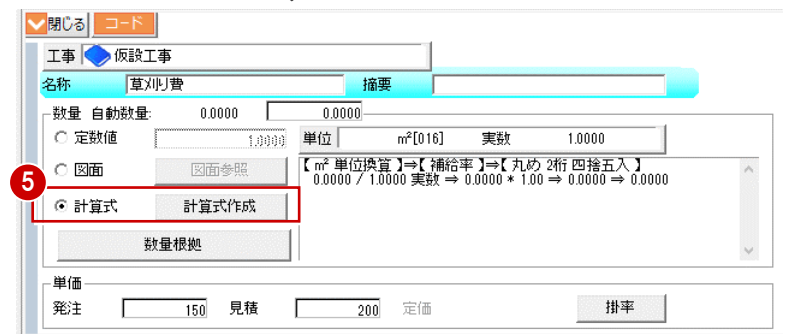
敷地面積から草刈り費を算出する明細項目を計算式を使って追加してみましょう。

工事区分	名称	単位	発注単価	見積単価	集計方法	計算式
仮設工事	草刈り費	m	150	200	計算式	【敷地 面積[トータル面積表]】

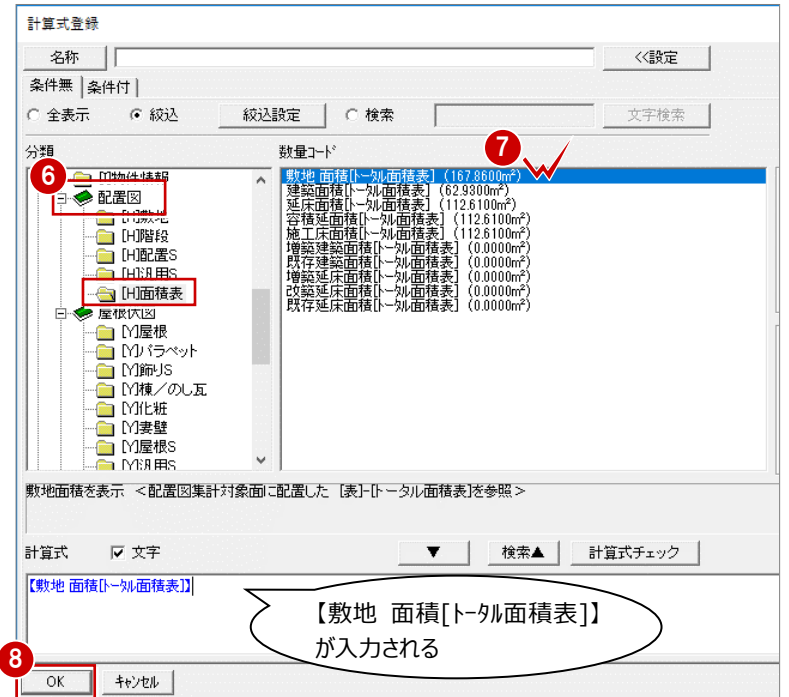
- 1 「仮設工事」をクリックします。
- 2 明細を追加したい位置のセルをクリックします。
- 3 名称・数量・単位・発注単価・見積単価を上記表の通り入力します。
- 4 画面下部の「詳細」をクリックし詳細パネルを表示します。



- 5 計算式にチェックをつけ、「計算式作成」をクリックします。



- 6 左側のツリーから「配置図」の中にある「[H] 面積表」を選びます。
- 7 右側の数量コード一覧から、「敷地 面積 [トータル面積表]」をダブルクリックします。
- 8 「OK」をクリックします。明細が追加され、数量が入ります。



✓	6	□ 基本	仮設...	竣工美装費		112.6100	m²[016]	500	670
✓	7	□ 基本	仮設...	運搬費		112.6100	m²[016]	300	400
✓	8	□ 基本	仮設...	草刈り費		167.8600	m²[016]	150	200
	9								

数量が入る

C 計算式を組んで明細を追加する

今度は、明細詳細パネルから、サッシ廻り防水テープの明細項目を設定してみましょう。

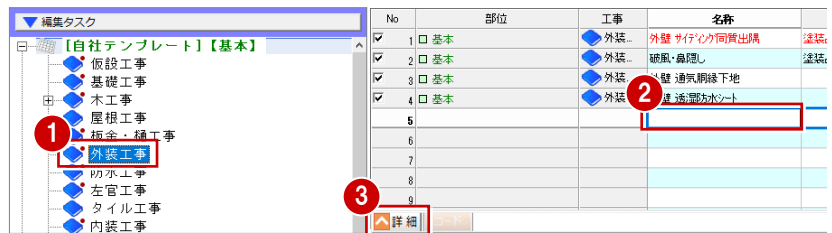
サッシの4周の長さを拾う計算式を設定し、テープは1巻20mとして、実データから算出される長さ (m) を本数 (1本あたり20m) に換算してみましょう。

工事区分	名称	摘要	単位	発注単価	見積単価	計算式
外装工事	サッシ廻り防水テープ	75mm×20m	本	990	1320	【金窓(外部) (上+左+右)枠長】+【金窓(外部) 下枠長】

※ ここでは、例として金属窓のみで計算式を組んでいますが、実際は金属戸も必要になります。
また、長さはサッシの4周のみで余分な長さは検討しておりません。

詳細パネルを開く

- 1 ツリーから「外装工事」を選びます。
- 2 明細を追加したい位置のセルをクリックします。
- 3 セル下部の「詳細」をクリックします。



計算式を組む

- 1 明細詳細パネルで、名称や単価を次のように入力します。

「名称」：サッシ廻り防水テープ
「摘要」：75mm×20m
「発注」：990
「見積」：1320

- 2 「計算式」にチェックを入れて、「計算式作成」をクリックします。
「計算式登録」ダイアログが開きます。

- 3 左側のツリーから「平面図」の中にある「[T] 建具」を選びます。

- 4 右側の数量コード一覧から「金窓(外部) (上+左+右)枠長」をダブルクリックします。

- 5 「+」をクリックします。
※ キーボードのテンキーでも入力できます。

- 6 数量コード一覧から「金窓(外部) 下枠長」をダブルクリックします。

- 7 「OK」をクリックします。

数量コードの数は多いため、「検索」を使用すると目的のコードを探しやすくなります。

設定した計算式が正しいかチェックできます。

単位を登録する

換算率 20 の「本」の単位を新たに登録してみよう。

- 1 明細詳細パネルの「単位」をクリックします。
- 2 「単位設定」ダイアログの「換算率表示」をクリックして、「編集モード」を ON にします。
- 3 空き番号を選択して、単位の名称や換算率などを入力します。
ここでは、次のように設定します。

「名称」：本
「情報」：整数
「換算率」：20
「備考」：1 本 20m

- 4 入力できたら、「OK」をクリックします。
- 5 確認画面で「OK」をクリックします。「数量」の数値が、換算率を考慮した値になります。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	基本	外装	外壁 サイディング同質出隅	塗抹品	0.0000	m[015]	1,000	1,340
2	基本	外装	破風・鼻隠し	塗抹品 3m	17.5000	本[052]	2,000	2,670
3	基本	外装	外壁 通気網下地		196.6100	m²[016]	90	110
4	基本	外装	外壁 透湿防水テープ		196.6100	m²[016]	100	140
5	基本	外装	サッシ廻り防水テープ	75mm×20m	4.0000	本[055]	990	1,320
6								

補足

数量の算定方法

自動集計するものとしなないものでは、明細詳細パネルの設定が異なります。

【外部】【部屋・建具・部品】で、図面の入力データから自動集計できるものは、下の右図のような詳細パネルになります。

一方、【基本】の項目など、図面から自動集計されないものは、明細詳細パネルに「定数値」「図面」「計算式」オプションが表示され、この3つの算定方法を使って求めたい数量を算出します。

定数値	固定の数量とするときに使用します。
図面	図面参照ウィンドウを利用して、図面に直接手入力して数量の根拠となる長さや面積を指定します。
計算式	「計算式登録」の数量コードを利用し、計算式から数量を求めるときに使用します。

【自動集計されない場合】

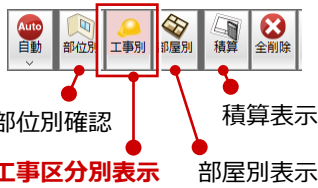
【自動集計される場合】

1-9 金額の確認

工事区分ごとの金額を確認する

工事区分別に集計して、工事全体の発注金額、見積金額、利益率などを確認しましょう。

「工事区分別表示」では、【基本】【外部】【部屋・建具・部品】の明細が、工事区分ごとにまとめて表示されます。



※ 名称、適用、単位（番号）、発注単価、見積単価、定価、備考が同じものは同じ明細で集約されます。名称や金額など何か1つ異なると合算されません（全角、半角、空白の違いも判別します）。

「部屋別表示」の場合は、部屋単位での金額が確認できます。

表示を切り替えると、「元に戻す」「やり直し」の情報がクリアされます。

【工事区分別表示】

No	部位	工事	名称	摘要
1	基本	仮設...	水空少遣方	
7	基本	仮設...	外部足場組	
9	基本	仮設...	内部吹掛足場	
11	基本	仮設...	機械器具積料費	
12	基本	仮設...	養生費	
14	基本	仮設...	竣工美装費	
15	基本	仮設...	運搬費	
16	基本	仮設...	車刈り費	

全体	発注金額 ¥14,035,624	見積 - 発注 ¥6,489,525	見積金額 ¥20,525,149	利益率 31.61%
仮設工事	発注金額 ¥384,049	見積 - 発注 ¥129,142	見積金額 ¥513,191	利益率 25.16%

お使いのマスタやテンプレートにより、本書とは集計結果が異なる場合があります。

「工事 金額表示する」をクリックすると、ツリーに工事ごとの見積金額、発注金額、利益率が表示されます。閉じるときは、「工事 金額表示しない」をクリックします。

全体の金額と、ツリーで選択している工事の金額が表示されます。

金額のブラインド表示

お施主様に画面を提示する場合など、発注単価や定価を見せたくないときは、「専用初期設定：表示」の「発注単価ブラインド」「定価ブラインド」をONにします。

このとき、見積金額以外がブラインド (***) で表示されます。

全体	*****	*****	*****	*****
発注金額	*****	*****	*****	*****
見積金額	¥20,416,993	利益率	*****	*****

明細項目セル、詳細パネル、ツールバーの金額表示も同様となります。

No	名称	摘要	数量	単位	発注単価	発注金額	見積単価	見積金額	定価
1	水空少遣方		82.9300	m ² [014]	*****	*****	670	42,168	*****
2	外部足場積料	枠組足場	263.7000	m ² [014]	*****	*****	1,200	316,440	*****
4	足場養生ネット	メーキング別巻	263.7000	m ² [014]	*****	*****	470	123,939	*****
6	内部吹掛足場	鋼管組	6.6200	m ² [014]	*****	*****	4,200	27,804	*****
7	仮設トル	簡易水洗 3ヶ月	1.0000	式[021]	*****	*****	40,000	40,000	*****

諸経費を設定する

諸経費を計上するかどうかは、「部位別確認」の「確認」で設定します。

- ① 「部位別」をクリックします。
- ② 「確認」をクリックします。
- ③ 「諸経費を計上する」をONにすると、工事区分別表示のツリーに「諸経費」と「合計」が表示されます。

諸経費は、「諸経費の対象を指定」で指定した工事区分までの金額合計と、設定した経費率から算出されます。

補足

集計された明細の表示を切り替えるには

セルで表示される集計項目は、数量が0のものは表示しないなど、表示を切り替えることができます。

全表示	全項目を表示します。数量が0の項目や積算対象外（「No」のチェックOFF）の項目も表示されます。
集計項目表示	集計された項目だけを表示します。積算対象外（「No」のチェックOFF）の項目は表示されません。
0項目表示	数量が0の項目と積算対象外（「No」のチェックOFF）の項目だけを表示します。
図面参照項目表示	図面を参照して、集計された項目だけを表示します。積算対象外（「No」のチェックOFF）の項目は表示されません。

※ 工事区分別表示で「行挿入」「行削除」「上へ」「下へ」などの行編集は、「全表示」のときに実行できます。

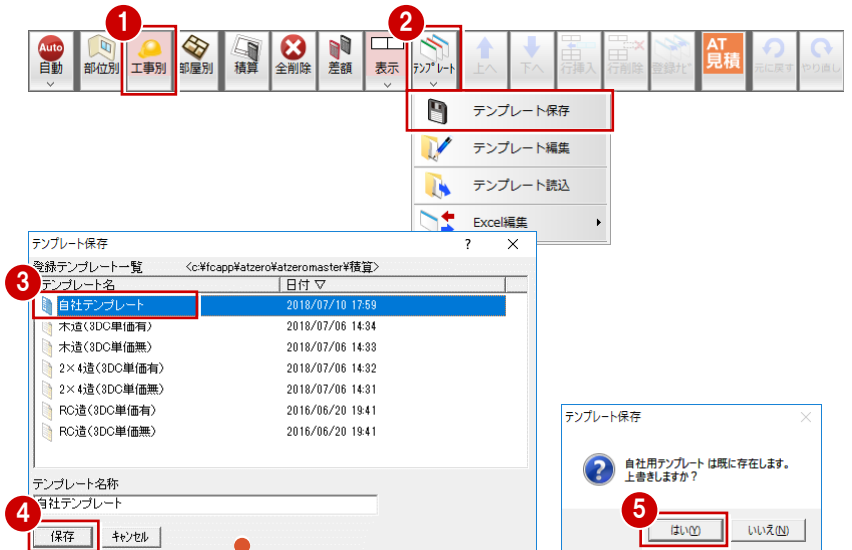
1-10 データの保存

編集した明細、単価などをテンプレートに保存しておく、次回、別物件の自動集計時にも、ここで保存したテンプレートを使用できます。1つのテンプレートを多くの物件で使用することで、完成度の高い自社仕様のテンプレートが出来上がります。

テンプレートに保存する

P.13 で保存したテンプレートに上書き保存します。テンプレートには、単位設定や明細行の並び順も保存されます。

- 1 「工事別」をクリックします。
- 2 「テンプレート」メニューから「テンプレート保存」を選びます。
- 3 「テンプレート保存」ダイアログの一覧から上書きするテンプレートを選びます。
- 4 「保存」をクリックします。
- 5 確認画面で「はい」をクリックします。



別テンプレートとして保存する場合は、「テンプレート名称」に新しいファイル名を入力して、「保存」をクリックします。

データを保存する

- 1 ツールバーの「上書き保存」をクリックしてデータを保存します。



白紙からテンプレートを作成するには

既存のテンプレートを使って自社テンプレートを作成する他に、白紙の状態からテンプレートを作成する方法があります。白紙から作成する場合も物件データを使って項目を集計する操作は同じですが、既存テンプレートを使用しません。工事区分と明細の単価を1から設定していきたい場合や、物件の仕様が異なるため関係ない明細をテンプレートに残したくない場合などにこの方法でテンプレートを作成するとよいでしょう。

- 1 「処理選択」ダイアログの「積算」タブをクリックします。
- 2 「手間なし積算」をダブルクリックします。
- 3 「図面選択」ダイアログで「No.01」をダブルクリックします。
- 4 「自動」ダイアログで「現在の状態で再集計を行います。表示位置は調整されます」をONにします。
- 5 「開始」をクリックします。数量が図面データから集計されます。
- 6 仕上や建具などの工事区分、単価を設定していきます。(⇒P.11)
- 7 明細の編集後、「テンプレート」メニューから「テンプレート保存」を選んでテンプレートに保存します。

「数量を自動数量で上書きする」は、手間なし積算データがない面に集計するため、チェックはON/OFFどちらでもかまいません。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
2	0	0	0	0	7.0200	m[013]	0	0
8	0	0	0	0	1.0000	組[024]	0	0
8	0	0	0	0	1.0000	組[024]	0	0

工事区分、単価などを設定

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
2	0	0	0	0	7.0200	m[013]	0	0
8	0	0	0	0	1.0000	アサリ[030]	18,200	25,600

黒字になる

テンプレート編集機能について

テンプレートの登録は、明細画面からの編集だけでなく、「テンプレート」メニューの「テンプレート編集」から登録することもできます。「テンプレート編集」を使用してあらかじめテンプレートに項目を追加しておくことで、自動集計後の編集手間の軽減にも繋がります。

1-11 見積書を作成する

集計結果を見積書にして印刷するには、以下の2つの方法があります。

- (A) ARCHITREND 見積 を使って見積書を作成する
- (B) 手間なし積算のExcel出力機能を使って見積書を作成する

A ARCHITREND 見積を使って見積書を作成する

ここでは、ARCHITREND 見積を使って見積書を作成する操作を解説します。

※ ここからの操作には、ARCHITREND 見積 がインストールされている必要があります。

ARCHITREND 見積へ出力する

- 1 見積書を作成するモード（ここでは「工事別」）をONにします。
- 2 「AT 見積」をクリックします。
- 3 確認画面で「OK」をクリックします。
- 4 「データ作成」の「ファイル名」に見積書のファイル名を入力します。
- 5 「OK」をクリックします。



項目No	名称	摘要	見積数量	単位	見積単価	見積金額
概 1	仮設工事		1.00	式	513,191	513,191
概 2	基礎工事		1.00	式	1,812,588	1,812,588
概 3	木工事		1.00	式	6,339,147	6,339,147
概 4	屋根工事		1.00	式	789,158	789,158
概 5	屋根・積工事		1.00	式	173,057	173,057
概 6	外装工事		1.00	式	1,422,381	1,422,381
概 7	防水工事		1.00	式	57,457	57,457
概 8	左官工事		1.00	式	37,842	37,842
概 9	タイル工事		1.00	式	273,360	273,360
概 10	内装工事		1.00	式	551,487	551,487
概 11	塗装工事		1.00	式	38,448	38,448
概 12	金属建具工事		1.00	式	1,254,283	1,254,283
概 13	木製建具工事		1.00	式	959,700	959,700
概 14	給排水設備工事		1.00	式	730,720	730,720
概 15	電気設備工事		1.00	式	992,508	992,508
概 16	住宅機器工事		1.00	式	1,804,800	1,804,800
概 17	雑工事		1.00	式	240,875	240,875
計 18	諸経費					2,877,193
合計	総合計					22,187,180

数量が0の項目の扱い

数量が0の項目も出力するかどうかは、「専用初期設定：表示」の「数量=0の扱い（TXT・見積変換）」で設定します。（⇒ P.10）

変換された見積データを確認する

- 1 左のツリーの「+」をクリックして、内訳書の階層を表示します。
- 2 ツリーの項目をクリックすると、その項目の内訳書が右側に表示されます。
- 3 各項目の内訳書を確認します。

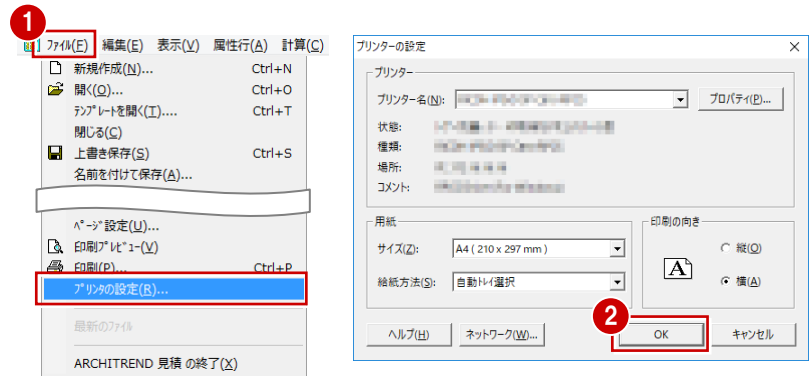
項目No	名称	摘要	見
概 1	仮設工事		
概 2	基礎工事		

⇒ 詳しい操作については、ARCHITREND 見積のマニュアルを参照

項目No	名称	摘要	見
7	外装工事		
細 1	外装工事		
細 2			
細 3	外壁 サイディング横張り	塗装品	
細 4	外壁 通気胴縁下地		
細 5	外壁 透湿防水シート		
細 6	破風・鼻隠し	塗装品 3m	
細 7	サッシ廻り防水テープ	75mm×20m	
細 8			
細 9			
細 10			
細 11			
細 12			
細 13			

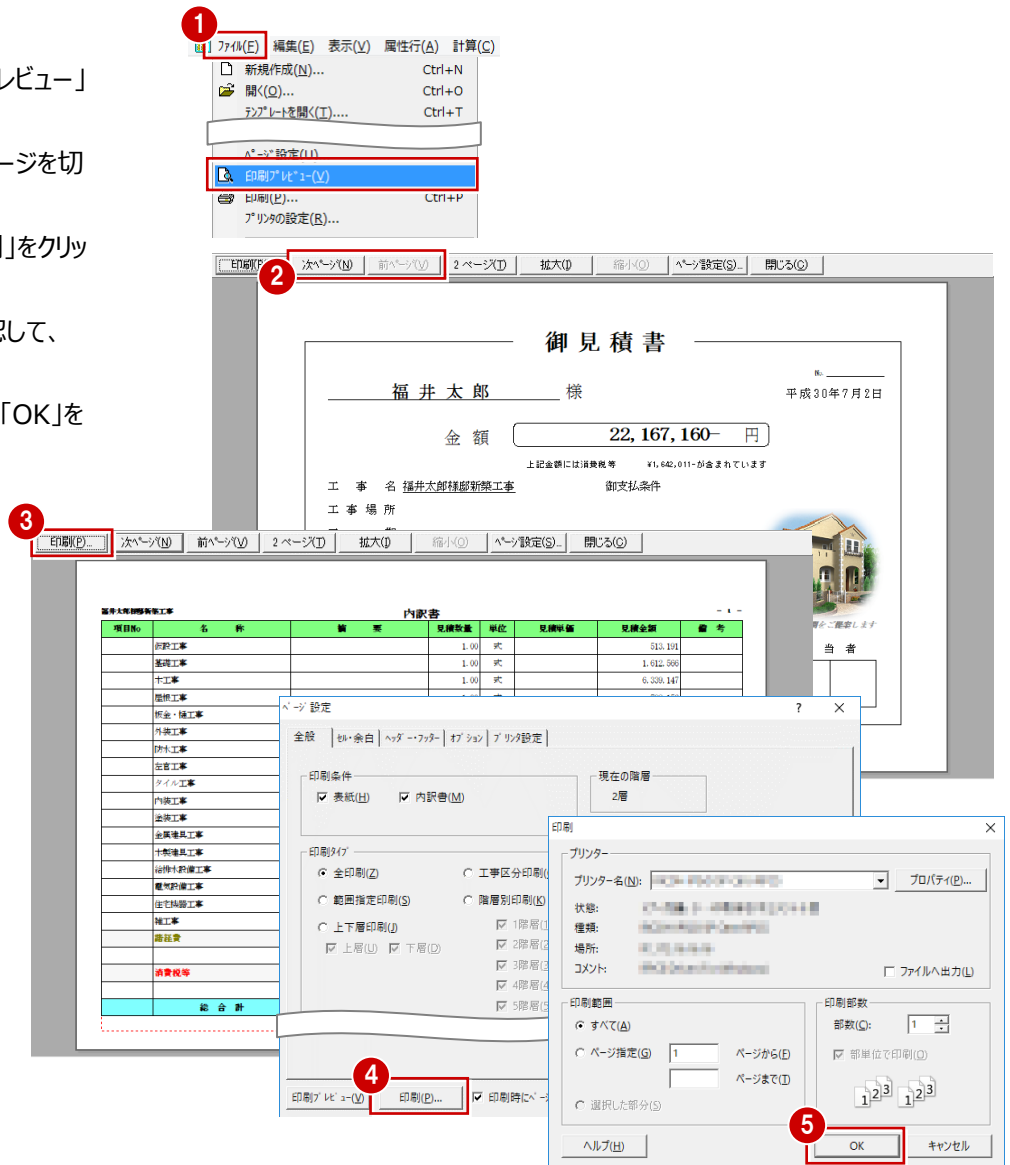
プリンタを設定する

- 1 「ファイル」メニューから「プリンタの設定」を選びます。
- 2 「プリンタの設定」ダイアログで、使用するプリンタや用紙のサイズ・向きなどを設定して、「OK」をクリックします。



見積書を印刷する

- 1 「ファイル」メニューから「印刷プレビュー」を選びます。
- 2 「次ページ」や「前ページ」でページを切り替えます。
- 3 プレビューを確認したら、「印刷」をクリックします。
- 4 「ページ設定」ダイアログを確認して、「印刷」をクリックします。
- 5 「印刷」ダイアログを確認して、「OK」をクリックします。



見積書データを保存する

見積データは、作成時にファイル名を付けているため、ここでは上書き保存します。

- 1 ツールバーの「上書き保存」をクリックします。

※ ファイル名を変えて保存する場合は、「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」を使用します。



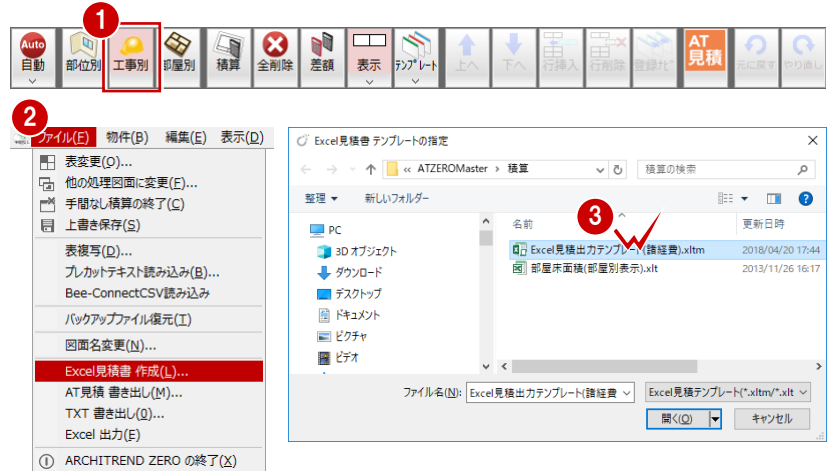
B Excel を使って見積書を作成する

手間なし積算では、集計データ、物件情報（物件名、施主名など）、配置図のデータ（トータル面積表の延床面積）から、簡易見積書をMicrosoft（マイクロソフト）製のExcelで作成できます。この見積書は、手間なし積算専用のExcelテンプレートを使用して作成します。

※ ここからの操作には、Microsoft Office Excel 2010以降がインストールされている必要があります。
本書では、Excel 2016 を使用して解説しています。

Excel 見積へ出力する

- 1 見積書を作成するモード（ここでは「工事別」）をONにします。
- 2 「ファイル」メニューから「Excel 見積書 作成」を選びます。
- 3 「Excel 見積出力カテゴリー（諸経費）.xltx」をダブルクリックします。
Excel の見積書が開きます。
- 4,5 シートを切り替えて確認します。



数量が0の項目の扱い

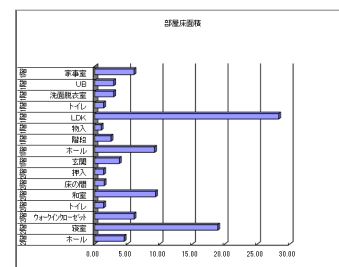
数量が0の項目や積算対象外の項目は、Excelには出力されません。

Excel 見積書のテンプレート

出荷時には「○:¥FcApp¥ATZERO¥ATZEROMaster¥積算」フォルダに2つのテンプレートが用意されています。
印刷される表紙、明細書は同じですが、作成されるグラフが異なります。

- Excel見積出力カテゴリー（諸経費）.xltx
工事区分毎の見積金額の構成比率を示したグラフが作成されます。
- 部屋床面積（部屋別表示）.xlt
部屋毎の床面積を示したグラフが作成されます。積算表示・部屋別表示に切り替えてから使用します。

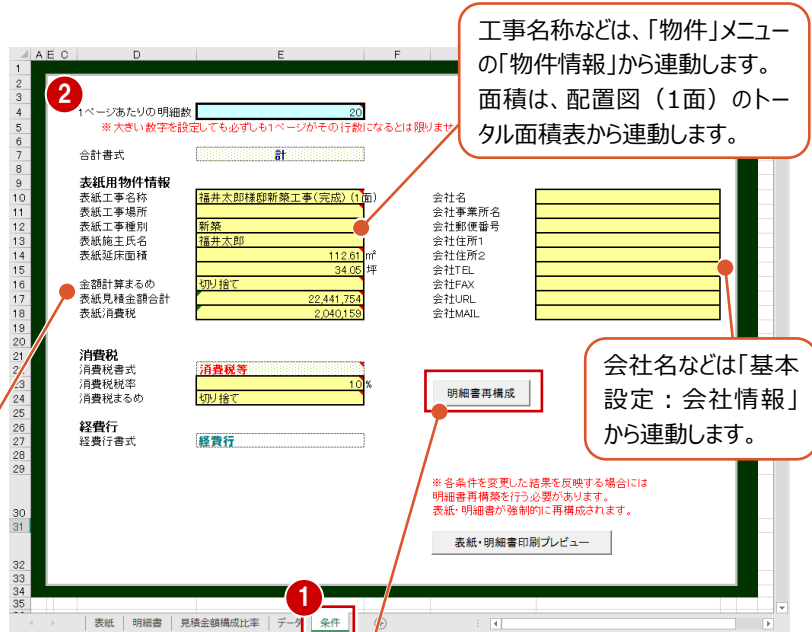
※ 従来のテンプレート「Excel見積出力カテゴリー.xlt」は、諸経費を含むデータのときは使用できません。諸経費がOFF（⇒ P.24）のときは使用可能です。



見積書の条件を確認する

- 1 「条件」シートをクリックします。
- 2 表紙に表示する項目、1 ページに表示する明細の数、計算まるめなどを確認します。

まるめには、手間なし積算の「専用初期設定：丸め」が連動します。
変更する場合は次の文字のみ入力します。
「四捨五入」「切り捨て」「切り上げ」
上記以外の文字が入力された場合は、まるめません。



「明細書再構成」をクリックすると、条件より再計算を行い、「明細書」シートが変更されます。次の場合に使用します。

- ・「1ページあたりの明細数」を変更して明細書の構成を変更する場合
- ・「金額計算まるめ」「消費税率」「消費税まるめ」を変更して金額の再計算が必要な場合

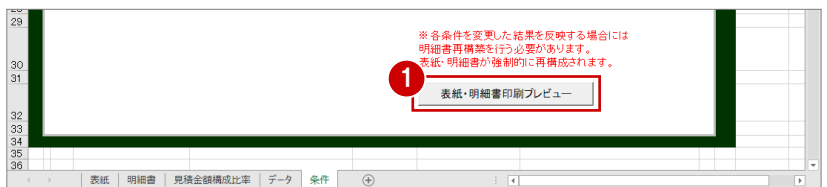
「データ」シートについて

基本的に、「データ」シートのデータは編集しないことをお勧めします。セル自体の移動、行の削除などを行うと、明細書が正しく表記できなくなります。

「数量」「見積単価」セルを変更したい場合は、手間なし積算の方で修正して、再度Excel見積書を作成するようにしましょう。

見積書を印刷する

- 1 「表紙・明細書印刷プレビュー」をクリックします。
- 2 「印刷」をクリックします。
- 3 「印刷」ダイアログで、プリンタなどを設定して、「OK」をクリックします。



印刷について

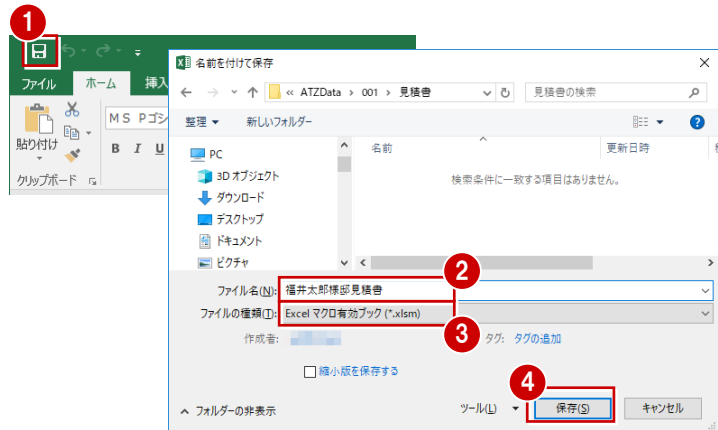
「表紙・明細書印刷プレビュー」では、表紙、明細書だけを印刷できます。
見積金額構成比率を印刷するときは、Excelの「印刷」コマンドを使用します。



Excel データを保存する

変換された Excel データは保存されていない状態なので、名前を付けて保存します。

- ① 「上書き保存」をクリックします。
- ② 「ファイル名」に任意の名称を入力します。
- ③ マクロを有効にしたままデータを保存するため、「ファイルの種類」で「Excel マクロ有効ブック (*.xlsm)」を選びます。
- ④ 「保存」をクリックします。



補足

Excel への出力

「ファイル」メニューの「Excel出力」では、手間なし積算のセルの内容（全項目表示された状態）を、そのままExcelに出力することができます。数量が0の項目や積算対象外の項目も、Excelに出力されます。

No	部位	工事	名称	積算	自動計算	数量
1	基本	仮設工事	本部へ運方	62,9300	62,93	
2	基本	仮設工事	内装足場撤去	263,7000	263,7	
4	基本	仮設工事	足場撤去計	263,7000	263,70	
6	基本	仮設工事	内装足場計定価	6,6200	6,62	
7	基本	仮設工事	仮設計	1,0000	1,0000	2100
8	基本	仮設工事	仮設撤去	1,0000	1,0000	2100
9	基本	仮設工事	仮設外運	1,0000	1,0000	2100
10	基本	仮設工事	撤去費	112,6100	112,6100	490
11	基本	仮設工事	撤去計	112,6100	112,6100	490

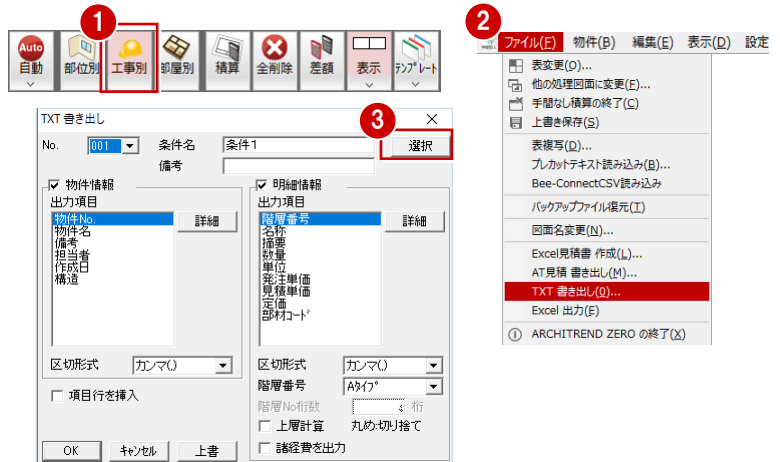
他社の見積システムへの変換

手間なし積算の集計データをテキストデータへ出力することで、他社の見積システムで取り込むことができます。

出荷時に、いくつか他社の見積システムへの変換条件を用意しており、その条件を選ぶだけで、見積システムに対応したテキストデータを出力できます。

※ 他社の見積システムでのテキストデータの取り込み方法については、見積システムのマニュアルをお読みください。

- 1 見積書を作成するモード（ここでは「工事別」）を ON にします。
- 2 「ファイル」メニューから「TXT 書き出し」を選びます。
- 3 「TXT 書き出し」ダイアログの「選択」をクリックします。



- 4 「TXT 変換条件マスタ選択」ダイアログで見積システムをダブルクリックして選択します。

見積システムがマスタにない場合は、テキストを取り込める見積システムであれば、テキストの条件を個別に設定して出力してください。



- 5 「TXT 書き出し」ダイアログの「OK」をクリックします。
- 6 「ファイル名」にテキストデータのファイル名を入力します。
- 7 「保存」をクリックします。



テキストデータの保存先フォルダの初期値は、データフォルダ内の「変換_積算」フォルダに格納されます。なお、ファイル名の初期値は「物件No - 物件名 - 手間なし積算 - 図面No」となります。

2

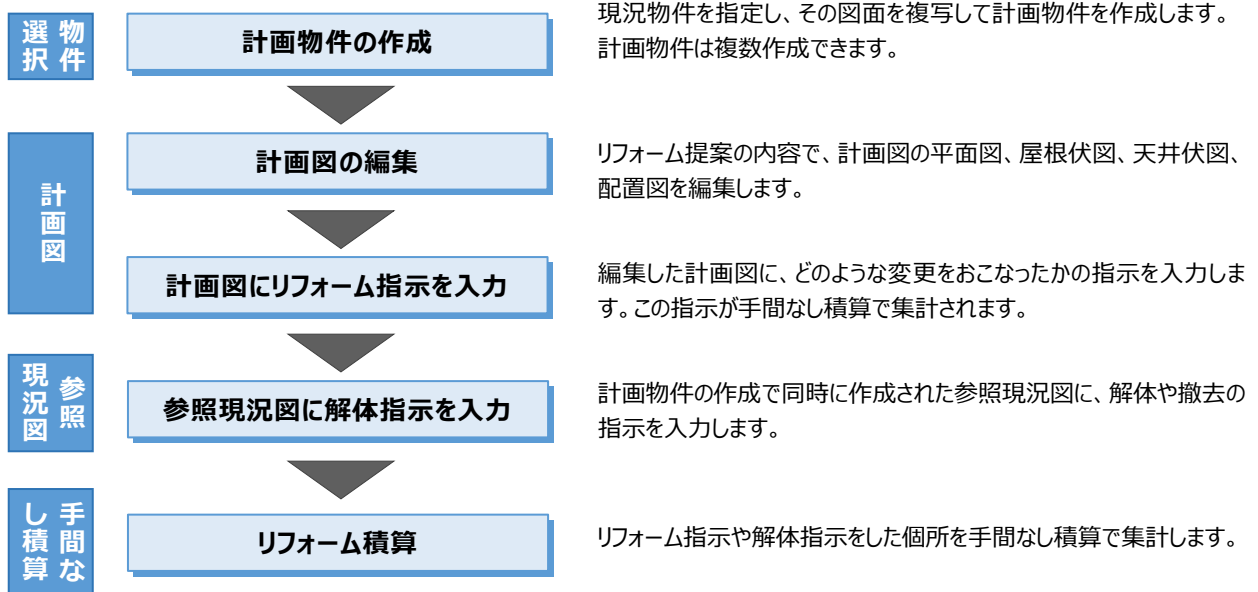
リフォーム積算

現況図をもとに計画図を作成し、計画図では、新設する部材の指示、参照現況図では解体や移設などの指示を図面化することで、手間なし積算にてリフォームの積算を行うことができます。

2-1 現況図と計画図の作成

リフォーム積算の基本的な流れ

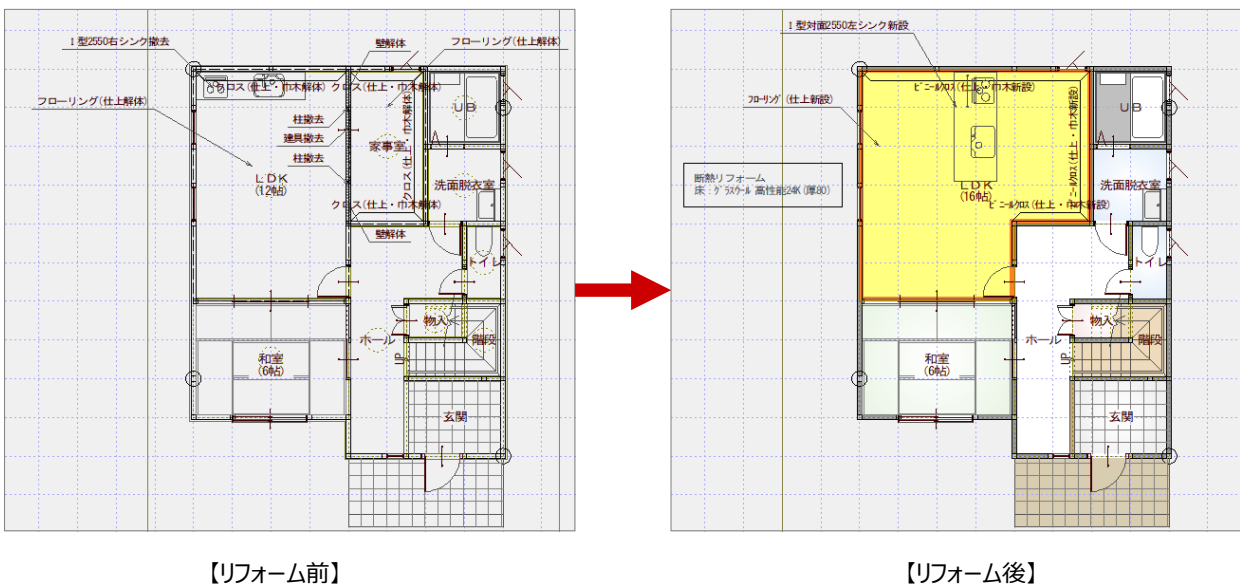
次のフロー図は、手間なし積算でリフォーム積算をおこなう場合の基本的な流れと、本マニュアルでの各項目の解説内容を示したものです。



リフォームプラン

本書では、LDKと家事室の間仕切りをなくして一部屋にし、断熱リフォームもおこなうことを想定して図面を入力します。

※ サンプルデータ「3_リフォーム積算（開始）.fcbz」を使用します。



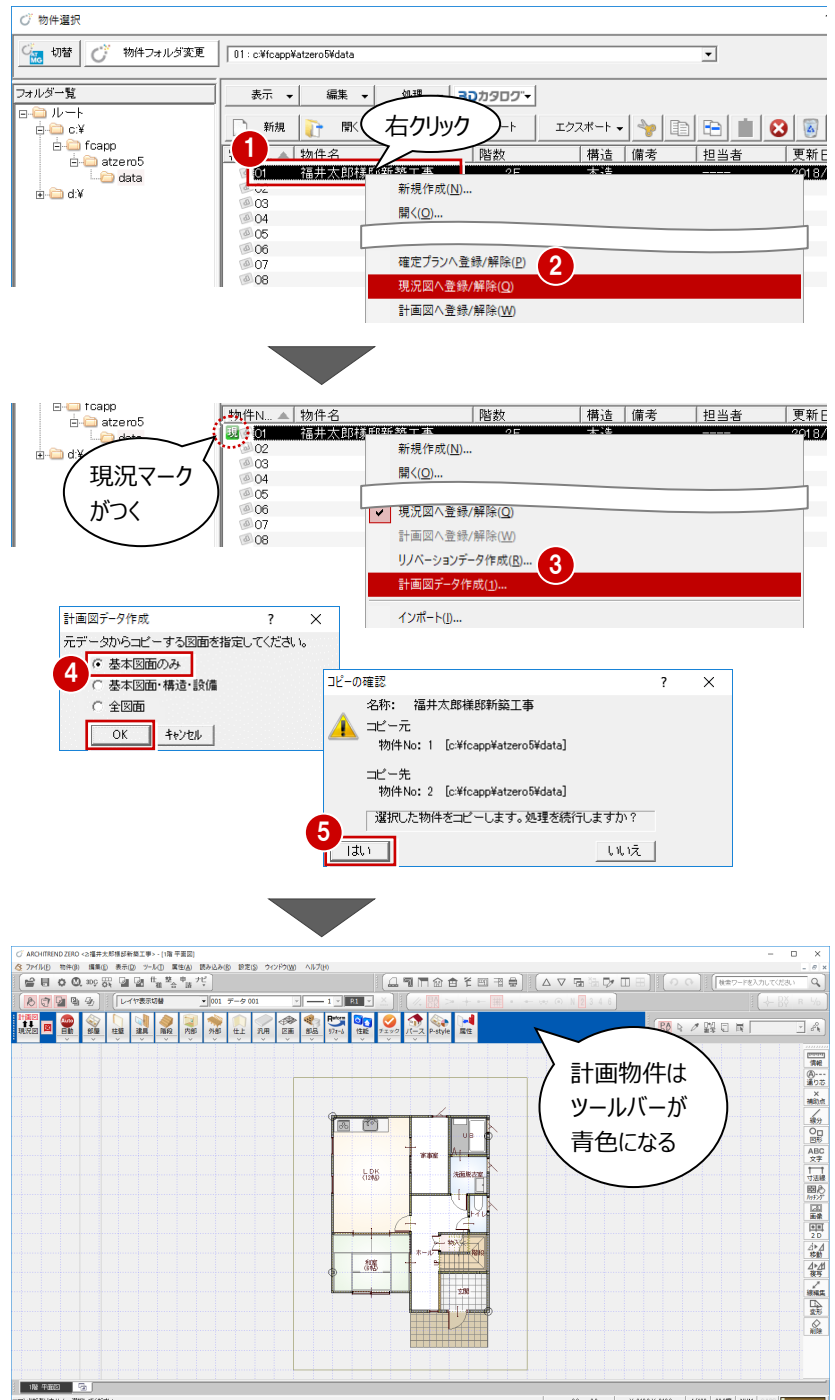
2-2 計画物件の作成

既存の物件データを現況物件として指定し、その図面を複写して計画物件を作成しましょう。

※ 解説用のデータを用意していますので、「物件選択」ダイアログでインポートしてください。
サンプルデータ「3_リフォーム積算（開始）.fcbz」を使用します。

現況図を指定して計画図を作成する

- 1 「物件選択」ダイアログで既存の物件を選びます。
- 2 右クリックして「現況図へ登録/解除」を選びます。
リフォームの現況図として登録され、「現」マークがつきます。
- 3 そのまま、右クリックして「計画図データ作成」を選びます。
- 4 現況図からコピーする図面を選びます。
ここでは、「基本図面のみ」を選んで「OK」をクリックします。
※ 今回の物件では基本図面しか作成されていないため、どれを選んで結果は変わりません。
- 5 確認画面で「はい」を選びます。
現況図から図面がコピーされ、計画図の1階平面図が開きます。



計画図を作成すると

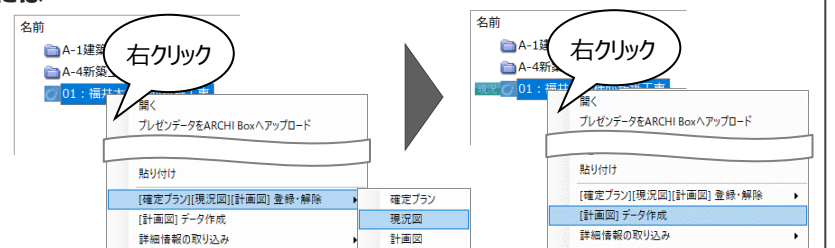
「物件選択」ダイアログでは、計画物件に「計」マークがつきます。
計画物件は複数作成できます。
なお、現況図に登録できるのは、物件フォルダ内で1つのみです。

物件N.	物件名
01	福井太郎様邸
02	福井太郎様邸
03	
04	

補足

マネージャーで計画図を作成するには

物件データを右クリックして「[確定プラン] [現況図] [計画図] 登録・解除」の「現況図」を選んで、現況図に登録します。
その後、物件データを右クリックして「[計画図] データ作成」を選びます。



参照現況図を確認する

計画図を作成すると、同時に参照現況図も計画物件内に作成されます。

参照現況図を開いて確認してみましょう。

- ① 「参照現況図を開く」をクリックします。
- ② 確認画面が表示された場合は、「OK」をクリックします。

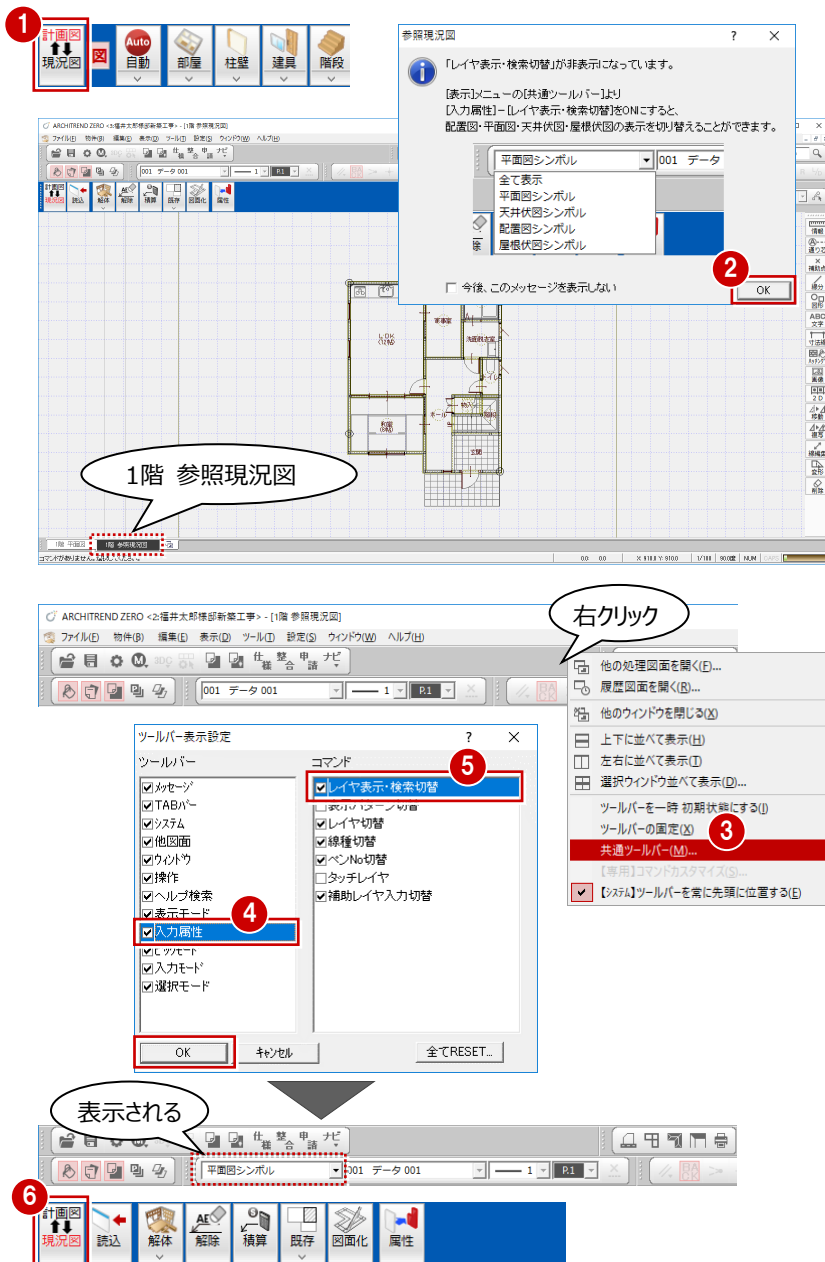
確認画面が表示された場合は、ツールバーの設定を変更しておきましょう。

後で解体指示を入力するとき、図面の切り替えに使用するコマンドを表示します。

- ③ ツールバー上で右クリックして、「共通ツールバー」を選びます。
- ④ 「ツールバー表示設定」ダイアログの左側から「入力属性」を選びます。
- ⑤ 右側の「コマンド」から「レイヤ表示・検索切替」をONにして、「OK」をクリックします。

※「レイヤ表示・検索切替」で「全て表示」を選ぶと、配置図や天井伏図などのデータも読み込まれていることが確認できます。

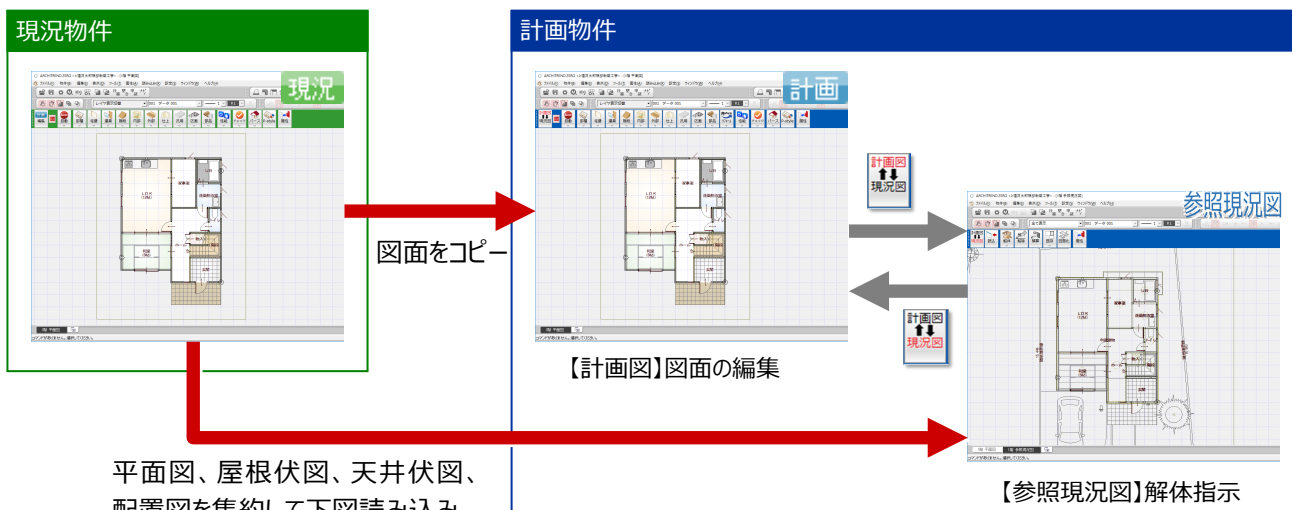
- ⑥ 「計画図を開く」をクリックして、計画図の平面図に戻しておきます。



現況図、計画図、参照現況図の関係

現況図から計画図を作成すると、指定した図面データをコピーして計画図が作成されます。

また、現況図の平面図、屋根伏図、天井伏図、配置図のデータを階ごとに集約して、参照現況図も計画図の物件内に同時作成されます。なお、参照現況図を編集しても現況図に影響はありません。

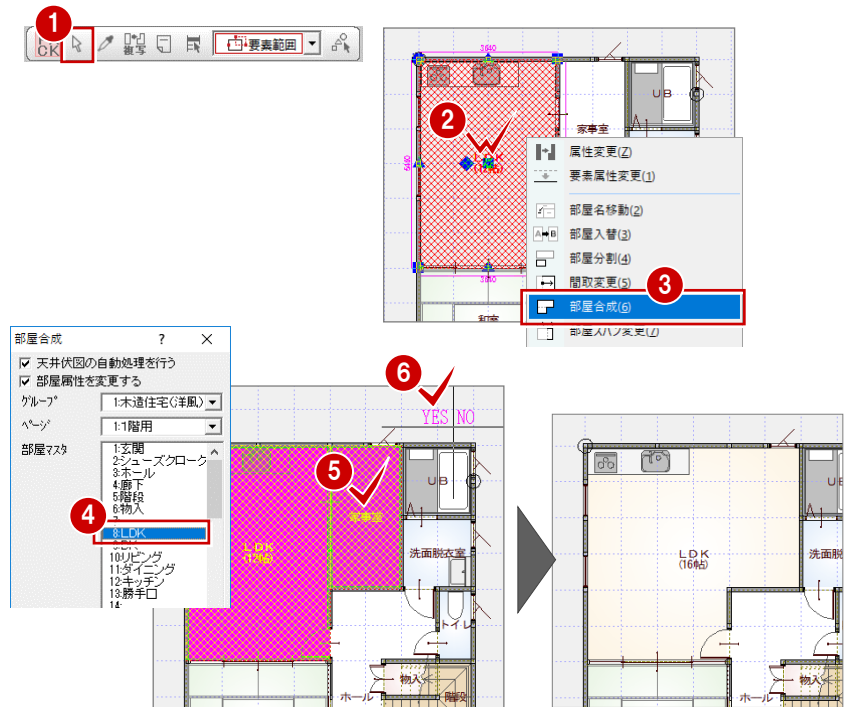


2-3 計画図の編集

ここでは、LDKと家事室の間仕切りをなくして一部屋にし、対面型のシステムキッチンを配置しましょう。

部屋を合成する

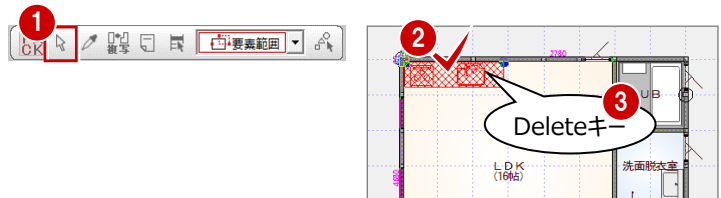
- 1 「対象データ選択」をクリックします。
- 2 LDKをダブルクリックします。
- 3 コマンドコレクションから「部屋合成」を選びます。
- 4 「部屋合成」ダイアログで「LDK」が選ばれていることを確認します。
- 5 合成する部屋として、隣の家事室をクリックします。
- 6 マウスマウスカーソルに「YES」「NO」が表示されるので、マウスの左ボタンをクリックします。
間仕切り壁や柱、仕上、建具が削除され、一部屋に合成されます。



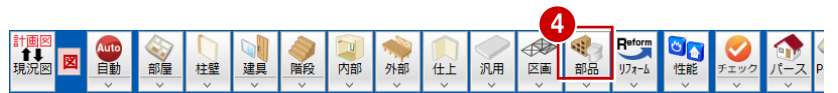
システムキッチンを配置する

既存のシステムキッチンを削除して、対面型のシステムキッチンを配置します。

- 1, 2 システムキッチンを選択します。
- 3 Delete キーを押します。



- 4 「部品」をクリックします。



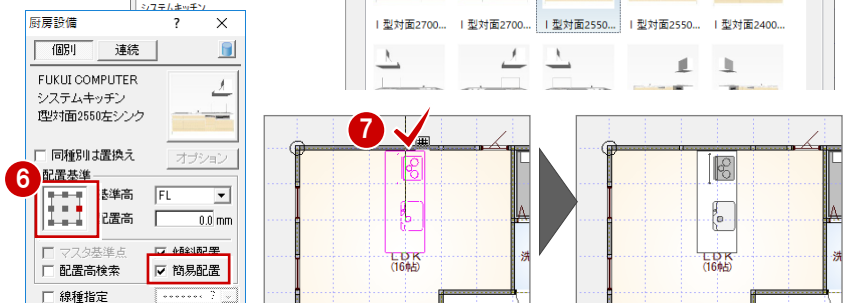
- 5 「部品選択」ダイアログで「I型対面2550 左シンク」を選びます。



- 6 「厨房設備」ダイアログを次のように設定します。

「簡易配置」：ON
「配置基準」：右中

- 7 右図の位置をクリックしてシステムキッチンを配置します。



2-4 計画図にリフォーム指示を入力

どのような変更をおこなったのか、計画図の変更内容を図面に表記します。この指示が手間なし積算で集計されます。

内壁仕上のリフォーム指示をする

- 1 「リフォーム」メニューから「リフォーム指示」を選びます。
- 2 パネルから「壁仕上」を選びます。

- 3 LDK 北側の壁の内側をクリックします。

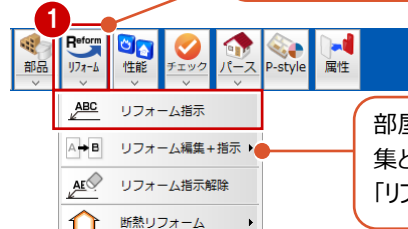
- 4 「リフォーム指示」ダイアログで「下地」のチェックをはずして「仕上」「巾木」が ON の状態にします。

- 5 マウスマウスカーソルに「YES」「NO」が表示されるので、図面表記を確認して、マウスの左ボタンをクリックします。

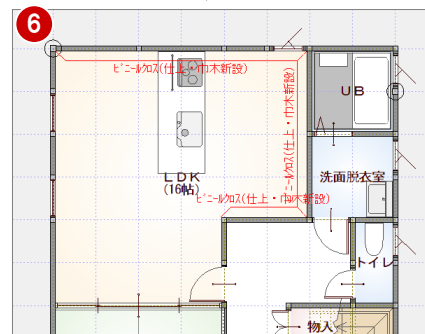
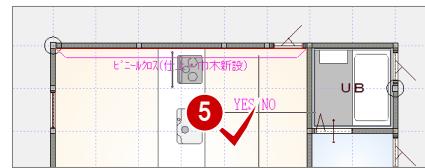
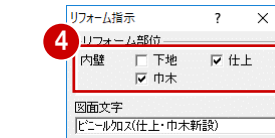
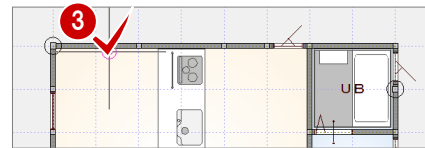
- 6 同様に、東側と南側にもリフォーム指示を入力します。

※ 図面文字が重なり見にくい場合には「文字」メニューの「文字属性変更」で「高さ」を調整します。

リフォームメニューはコマンドモードが通常モードまたはフルモードの場合に選択可能です。営業モードの場合は表示されません。



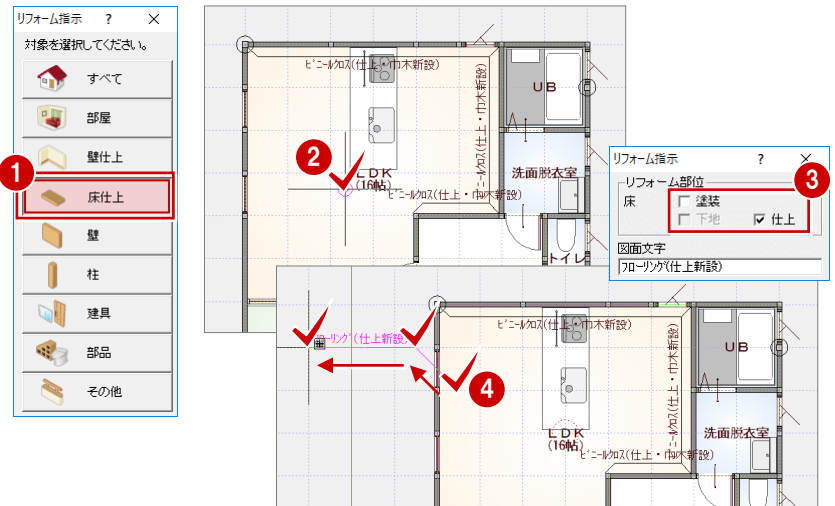
部屋の入れ替えや仕上の張り替えなど、編集と同時にリフォーム指示をおこなうときは、「リフォーム編集+指示」を使用します。



床仕上のリフォーム指示をする

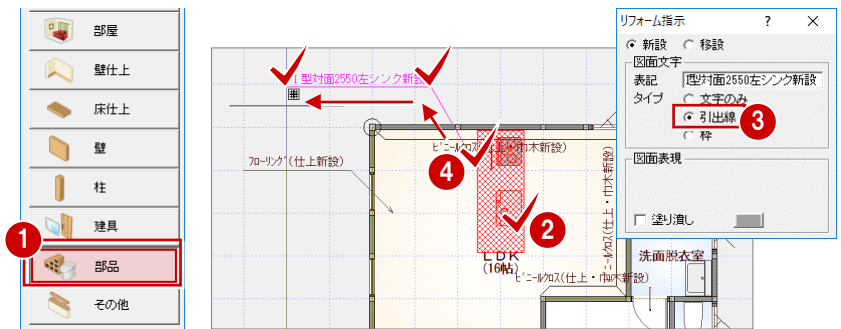
ここでは、LDKのフローリングを新しく張り替えることを想定します。

- 1 パネルから「床仕上」を選びます。
- 2 LDKをクリックします。
- 3 「リフォーム指示」ダイアログで「仕上」のみがONになっていることを確認します。
- 4 引出線の開始位置、終点、文字列の方向を順にクリックします。



部品のリフォーム指示をする

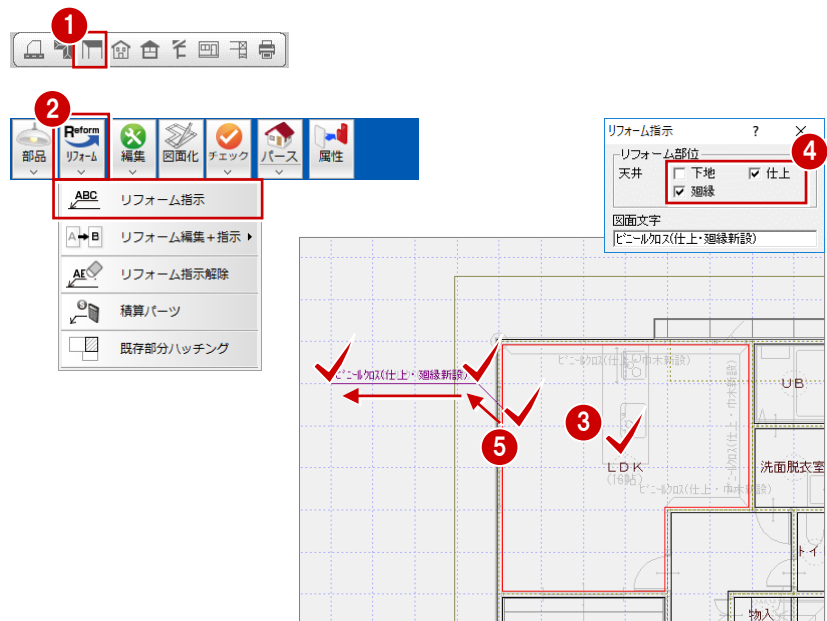
- 1 パネルから「部品」を選びます。
- 2 システムキッチンをクリックします。
- 3 「リフォーム指示」ダイアログで「引出線」がONになっていることを確認します。
- 4 引出線の開始位置、終点、文字列の方向を順にクリックします。



天井仕上のリフォーム指示をする

ここでは、LDKのクロスと廻縁を張り替えることを想定します。

- 1 「天井伏図オープン」をクリックして天井伏図を開きます。
- 2 「リフォーム」メニューから「リフォーム指示」を選びます。
- 3 LDKをクリックします。
- 4 「リフォーム指示」ダイアログで「下地」のチェックをはずして、「仕上」「廻縁」がONの状態にします。
- 5 引出線の開始位置、終点、文字列の方向を順にクリックします。



部分断熱リフォーム指示をする

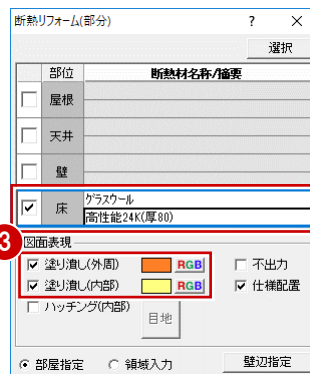
ここでは、LDK 全体に床断熱を施工することを想定します。

- 1 「平面図オープン」をクリックして平面図を開きます。
- 2 「リフォーム」メニューから「断熱リフォーム」の「部分断熱」を選びます。



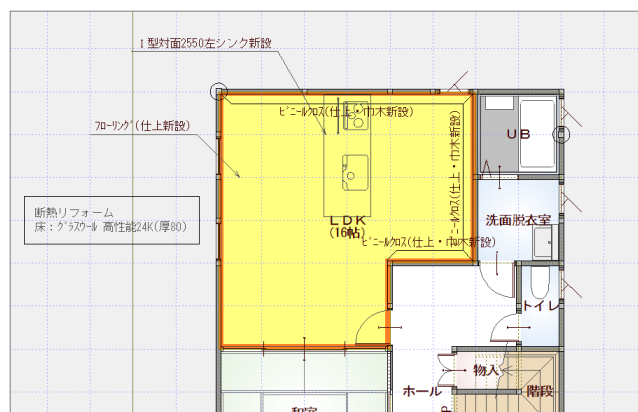
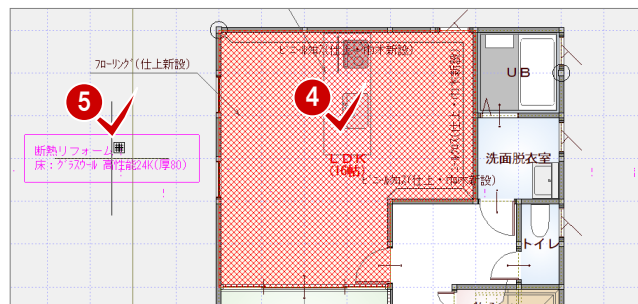
- 3 「断熱リフォーム（部分）」ダイアログを次のように設定します。

「床」のみ ON
 「塗り潰し（外周）」：ON
 「塗り潰し（内部）」：ON



断熱の仕様を変更する場合は、「選択」をクリックします。仕様の登録は、「専用初期設定：リフォーム-断熱リフォーム」で行います。

- 4 LDK をクリックします。
- 5 リフォーム指示の配置位置をクリックします。

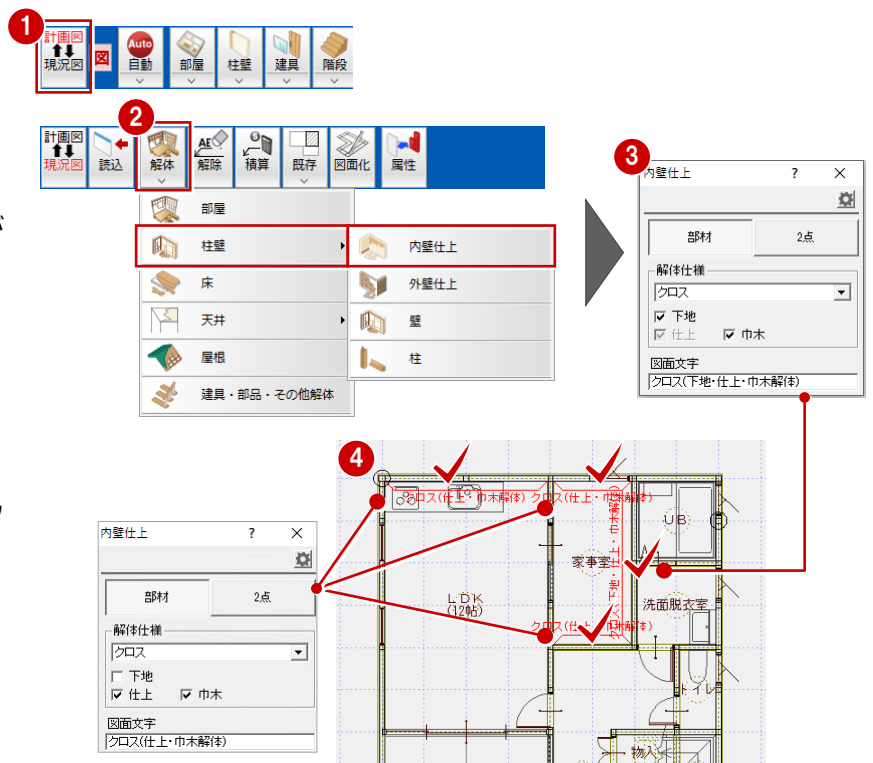


2-5 参照現況図に解体指示を入力

参照現況図に、解体や撤去の指示を入力します。この指示が手間なし積算の解体費用に反映されます。

内壁仕上の解体指示をする

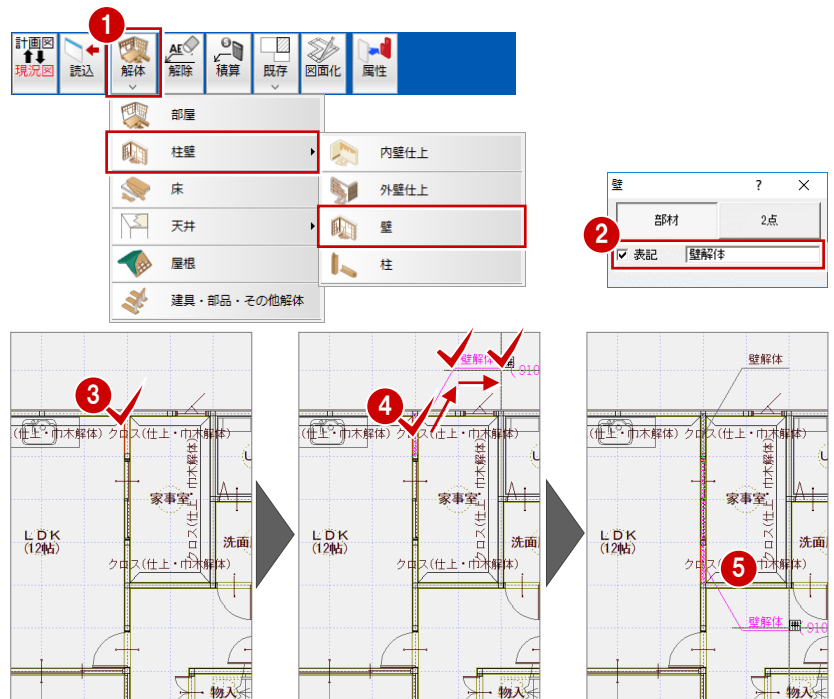
- 「参照現況図を開く」をクリックします。
- 「解体」メニューから「柱壁」の「内壁仕上」を選びます。
- 「部材」を選択し、「解体仕様」で「クロス」が選択されていることを確認します。「下地」が ON になっていることを確認し、家事室東側の壁をクリックします。
- 「下地：OFF」「仕上：ON」「巾木：ON」にし家事室南側の壁をクリックします。
同様の設定で家事室とLDK北側の壁をクリックします。



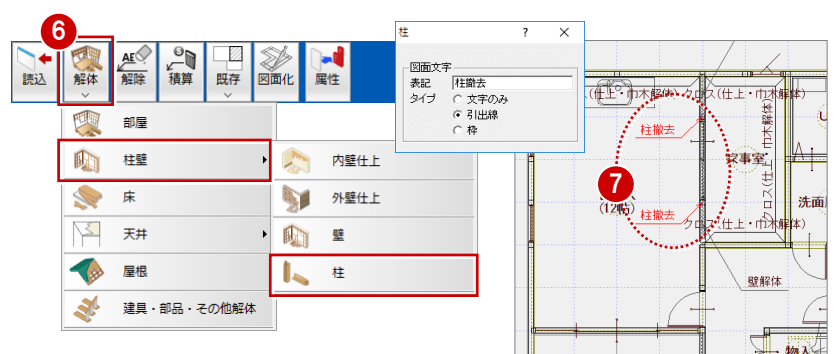
柱壁の解体指示をする

LDKと家事室の間の柱と壁に解体指示を入力しましょう。

- 「解体」メニューから「柱壁」の「壁」を選びます。
- 「壁」ダイアログの「表記」を ON にして表記する文字列を確認します。
- 解体する壁をクリックします。
- 引出線の開始位置、終点、文字列の方向を順にクリックします。
- 同様にして、もう1か所の壁にも解体指示を入力します。

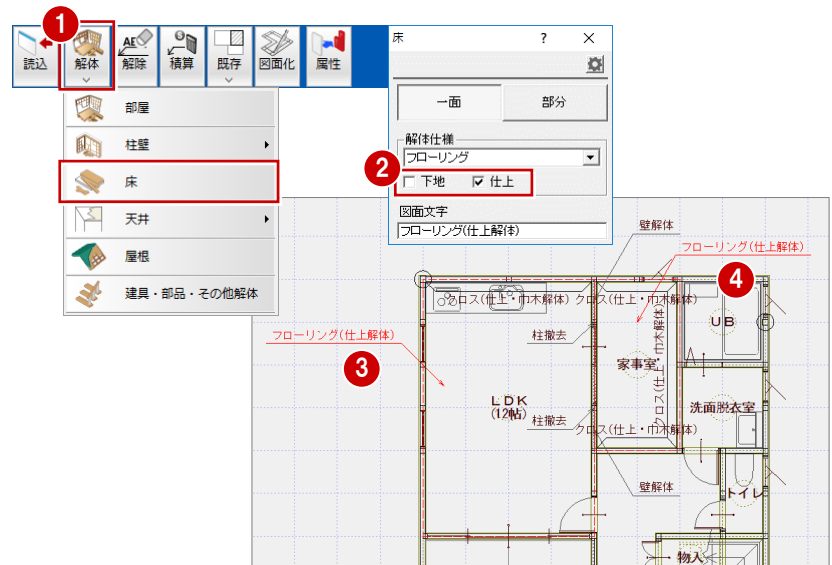


- 「解体」メニューから「柱壁」の「柱」を選びます。
- 壁と同様にして、2か所の柱にも解体指示を入力します



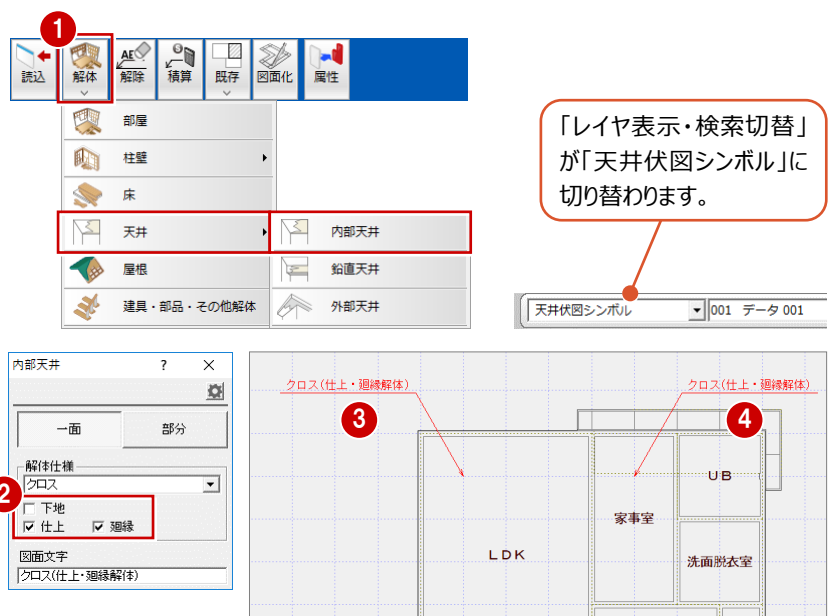
床の解体指示をする

- 1 「解体」メニューから「床」を選びます。
- 2 「床」ダイアログで「下地」のチェックをはずして「仕上」が ON の状態にします。
- 3 LDK をクリックして、解体指示の引出線を入力します。
- 4 同様にして、家事室にも解体指示を入力します。



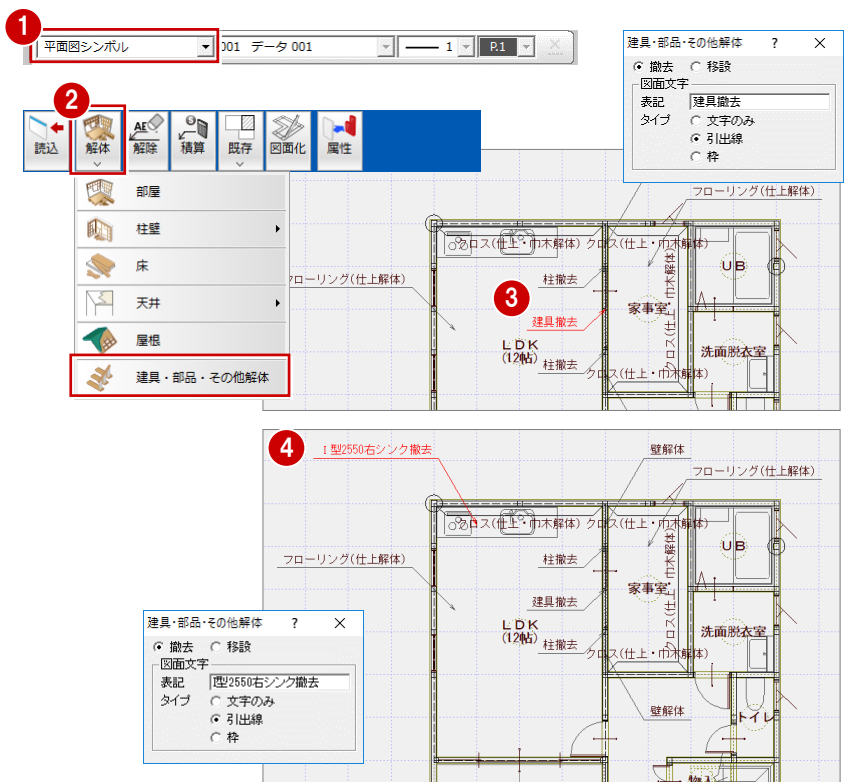
天井の解体指示をする

- 1 「解体」メニューから「天井」の「内部天井」を選びます。
- 2 「内部天井」ダイアログで「下地」のチェックをはずして「仕上」「廻縁」が ON の状態にします。
- 3 LDK をクリックして、解体指示の引出線を入力します。
- 4 同様にして、家事室にも解体指示を入力します。



建具や部品の解体指示をする

- 1 「レイヤ表示・検索切替」を「平面図シンボル」に切り替えます。
- 2 「解体」メニューから「建具・部品・その他解体」を選びます。
- 3 LDK と家事室の間の建具をクリックして、解体指示の引出線を入力します。
- 4 同様にして、システムキッチンにも解体指示を入力します。



2-6 リフォーム積算

リフォーム指示や解体指示をした個所を手間なし積算で集計しましょう。

手間なし積算で集計する

- 1 「他の処理図面を開く」をクリックします。
- 2 「処理選択」ダイアログの「積算」タブをクリックします。
- 3 「手間なし積算」をダブルクリックします。
- 4 「図面選択」ダイアログで「No.01」をダブルクリックします。

- 5 「自動」ダイアログで「木造（リフォーム）」をダブルクリックします。

※ 計画物件で手間なし積算を起動した場合は、リフォーム用のテンプレートが表示されます。

- 6 「部位別確認」に表示を切り替えて、自動集計された内容を確認しましょう。

